

I 調査の実施概要

1 調査の目的

芦屋市では、平成 30 年度を初年度とする「第 8 次芦屋すこやか長寿プラン 21」（第 8 次芦屋市高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画）を策定するにあたり、今後の計画策定に必要な基本的な資料を収集するため、2 種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査方法

調査対象	平成 29 年 1 月 1 日現在の市内在住 65 歳以上高齢者 2,200 人 (要支援・要介護認定者を除く)	平成 29 年 1 月 1 日現在の市内在住 65 歳以上要支援認定者 800 人	平成 29 年 1 月 1 日現在の要支援・要介護認定者 2,000 人 (施設入所者を除く)
主たる調査目的	・高齢者福祉計画のための実態把握 ・要介護状態になるリスクの発生状況、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題分析を行う		・介護保険事業計画のための実態把握 ・介護保険サービスの利用状況と、「在宅の継続」や「介護者の就労継続」の関係等に着目した分析を行う
抽出方法	住民基本台帳等より無作為抽出	要支援認定者より無作為抽出	要支援・要介護認定者より無作為抽出
配布・回収	郵送による調査票の配布・回収 ※督促状の送付(1回)		
調査期間	平成 29 年 2 月 14 日～2 月 28 日		

3 回収結果

調査票配布数 (C)	2,200	800	3,000	2,000
回収票数	1,779	628	2,407	1,449
有効票数(D)	1,760	609	2,369	1,281
無効票数	19	19	38	168
有効回収率 (D/C)	80.0%	76.1%	79.0% (前回 66.7%, 60 歳以上調査)	64.1% (前回 58.5%, 要支援・要介護認定者調査)

※「無効票数」は、白票(調査対象者、調査対象外者を含む)、及び市外在住など調査対象外の方の件数

4 調査結果の留意点

- 1 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 2 複数回答を求めた質問では、回答者数の合計は全体を超え、合計回答比率の合計も100.0%を超えます。
- 3 回答者数が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。
- 4 クロス集計は、「不明・無回答」が含まれるため合計値が全体と一致しません。

II 調査結果の概要

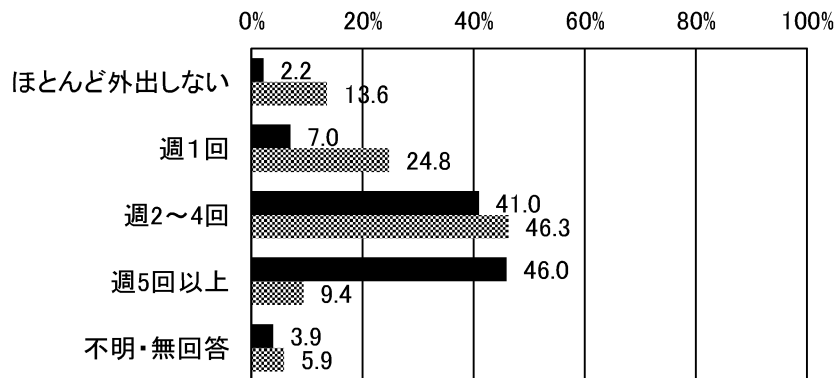
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 外出の頻度

一般高齢者は、「週5回以上」が46.0%で最も多くなっています。

要支援認定者は、「週2～4回」が最も多くなっています。

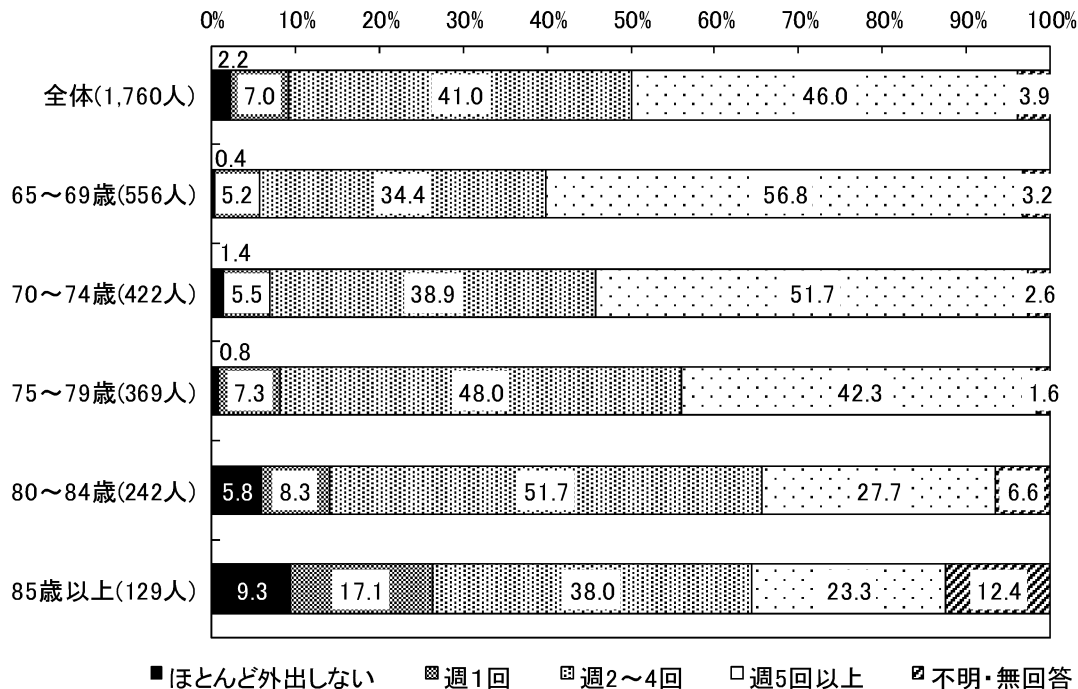
一般高齢者について、年齢別にみると、年齢が高くなるほど「週5回以上」と回答した人が減少しています。ほぼ毎日（「週5回以上」）、外出する人は、75歳以上で5割未満となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

■ 年齢別（一般高齢者）



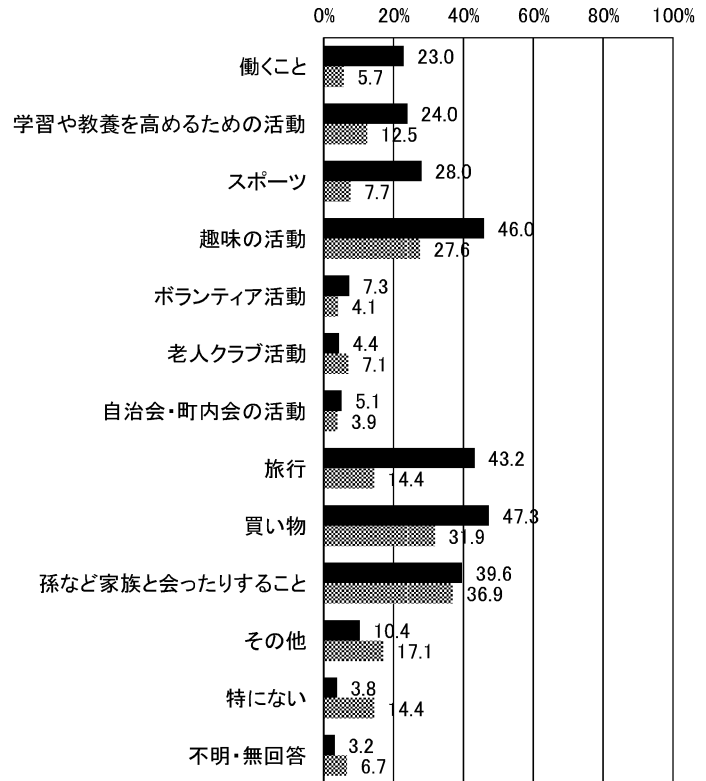
(2) 日常生活の中での楽しみ

一般高齢者は、「買い物」が47.3%で最も多く、次いで「趣味の活動」が46.0%、「旅行」が43.2%となっています。

要支援認定者は、「孫など家族と会ったりすること」が36.9%で最も多く、次いで「買い物」が31.9%、「趣味の活動」が27.6%となっています。

一般高齢者について、年齢別にみると、どの年齢区分も「趣味の活動」「旅行」「買い物」「孫などと会ったりすること」が上位を占めています。

また、年齢が上がるほど、「働くこと」と回答した人が少なくなっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

■年齢別（一般高齢者）

単位：%

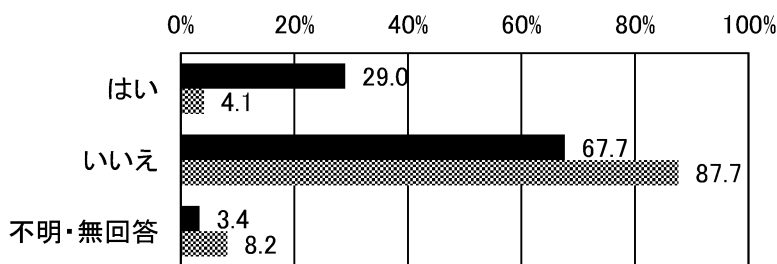
	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	スポーツ	趣味の活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会・町内会の活動	旅行	買い物	孫など家族と会ったりすること	その他	特にない	不明・無回答
全体	1,760	23.0	24.0	28.0	46.0	7.3	4.4	5.1	43.2	47.3	39.6	10.4	3.8	3.2
65～69歳	556	28.1	21.8	28.1	46.0	6.8	1.6	3.6	47.7	48.0	40.3	9.5	3.8	2.7
70～74歳	422	24.2	28.2	31.3	48.1	7.1	4.3	5.5	47.4	47.3	41.9	8.5	3.3	2.8
75～79歳	369	22.5	26.8	31.2	49.9	10.8	4.3	6.5	47.3	46.1	37.9	11.4	2.4	1.1
80～84歳	242	12.8	21.9	23.1	43.8	5.8	8.7	3.7	37.2	55.4	39.5	11.6	3.3	5.8
85歳以上	129	15.5	18.6	17.8	43.8	4.7	10.9	10.1	22.5	40.3	39.5	13.2	9.3	7.8

(3) 就労について

① 就労状況

一般高齢者は、「はい」(「就労している」)が29.0%となっています。

前回調査では、調査対象年齢が60歳以上と異なるため単純比較できませんが、就労状況は大きくは変わっていません(前回調査、一般高齢者29.8%)。

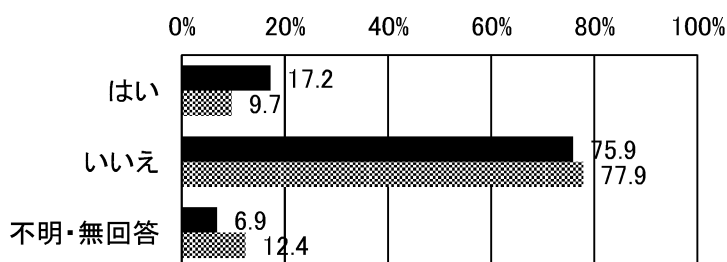


■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

② 今後の就労意向

(仕事をしていない方)

一般高齢者、要支援認定者ともに、「いいえ」(就労したくない)が約7割半ばから8割となっています。

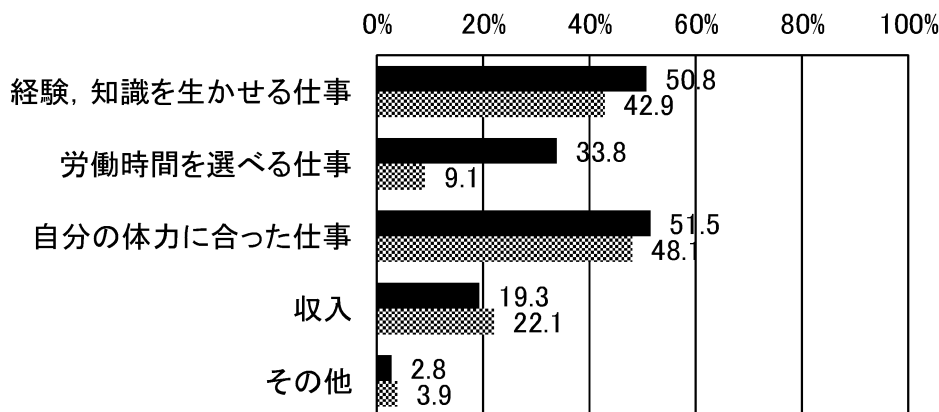


■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,191)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=534)

③ 働き方で重視する条件

(「現在、収入のある仕事をしている方」, 「今後、収入のある仕事をしたい方」)

一般高齢者、要支援認定者ともに、「自分の体力に合った仕事」, 「経験, 知識を生かせる仕事」が約4割から5割いて、多くなっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=715)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=77)

II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

一般高齢者について、性別にみると、男性では「経験，知識を生かせる仕事」、女性では「自分の体力に合った仕事」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～69歳では「経験，知識を生かせる仕事」、70～79歳では「自分の体力に合った仕事」が最も多くなっています。

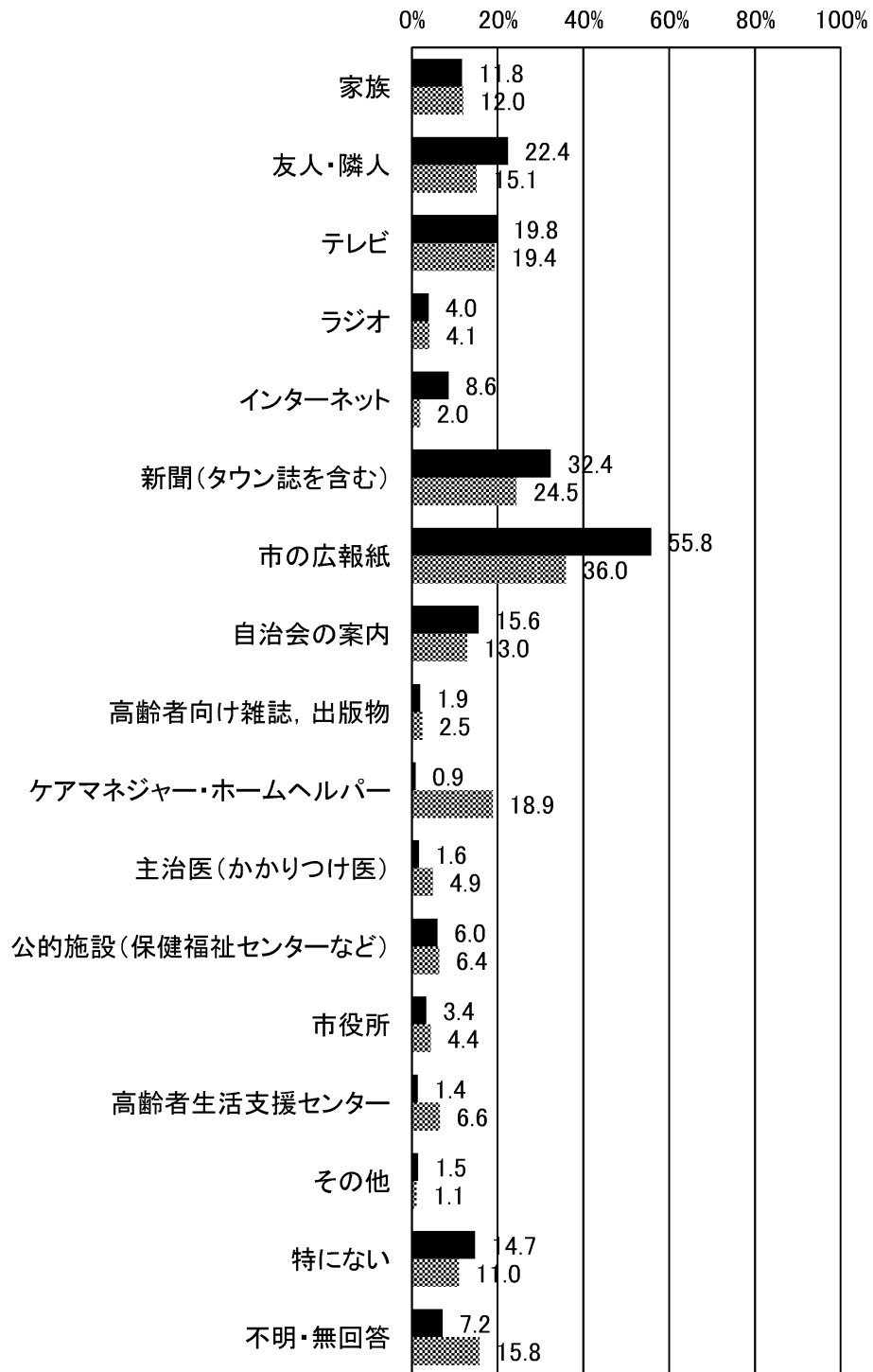
■性別、及び年齢別（一般高齢者）

単位：%

		合計	経験， 知識を 生か せる 仕事	労働 時間 を選 べる 仕事	自分 の 体 力 に 合 つ た 仕事	収 入	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
	全体	715	50.8		51.5	19.3	2.8	1.7	12.0
性別	男性	418	57.9		45.7	18.9	2.4	1.4	11.7
	女性	292		42.1	59.9	19.5	3.4	2.1	12.7
年齢	65～69歳	299	56.5		54.5	23.4	1.0	1.3	7.7
	70～74歳	181	45.9		55.2	21.5	1.1	1.7	9.4
	75～79歳	139	49.6		50.4	10.8	5.8	1.4	16.5
	80～84歳	52	36.5		36.5	9.6	5.8	3.8	28.8
	85歳以上	24	50.0		33.3	12.5	8.3	4.2	20.8

(4) 高齢者向け催し物やサービス提供に関する情報の入手先

一般高齢者，要支援認定者ともに，「市の広報紙」が最も多く，次いで「新聞（タウン誌を含む）」続いています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

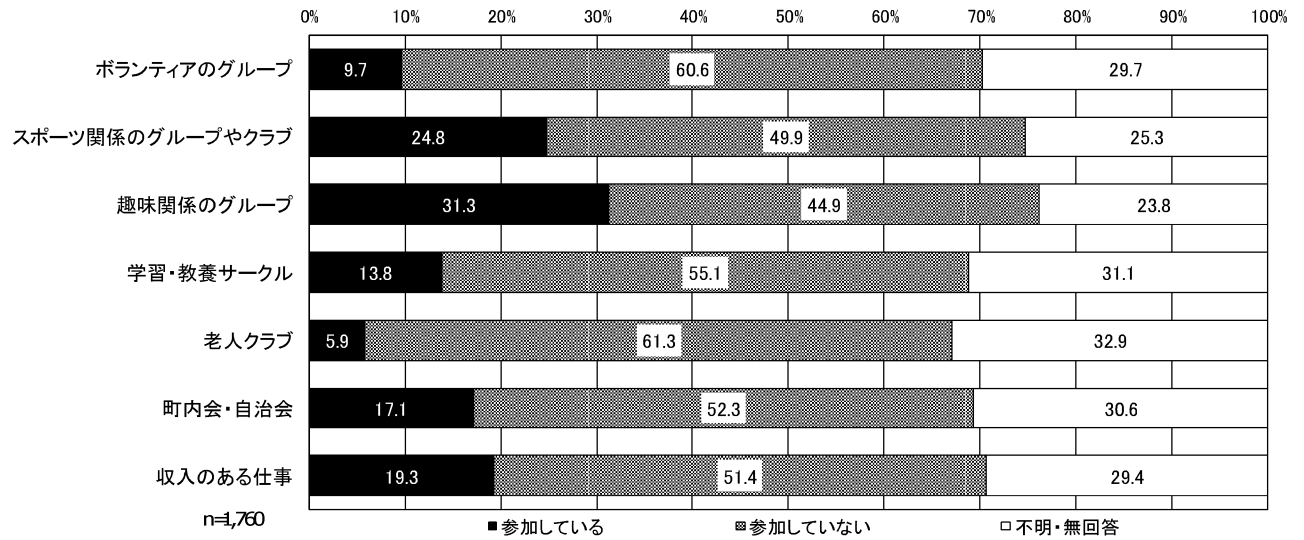
※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

(5) 地域活動について

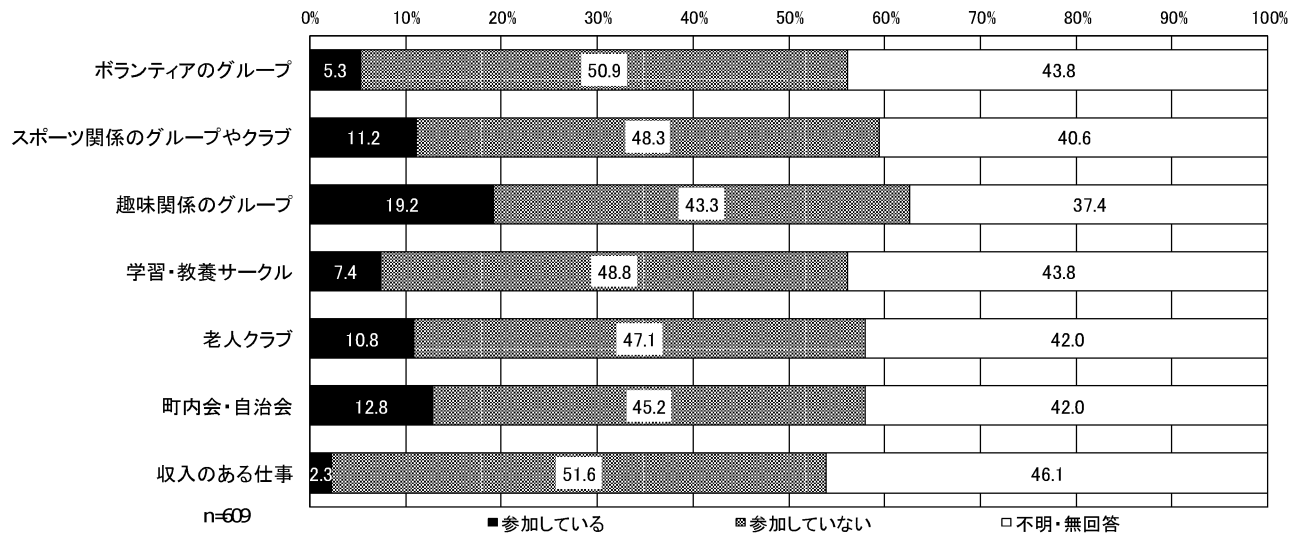
① 地域づくり活動への参加状況

一般高齢者、要支援認定者ともに、どの会・グループも「参加していない」が最も多く、約4割半ばから6割程度を占めています。

〔一般高齢者〕



〔要支援認定者〕

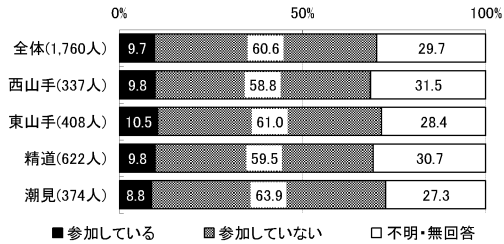


II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

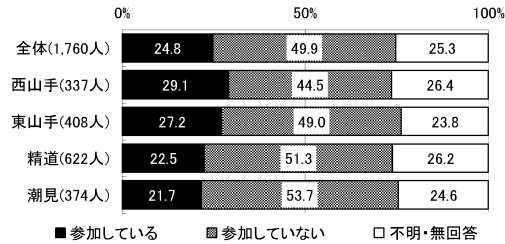
一般高齢者の地域活動について、地域別にみると、「スポーツ関係のグループ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」では「西山手」,「ボランティアのグループ」では「東山手」が最も多くなっています。「老人クラブ」では「精道」が最も多くなっています。

■地域別（一般高齢者）

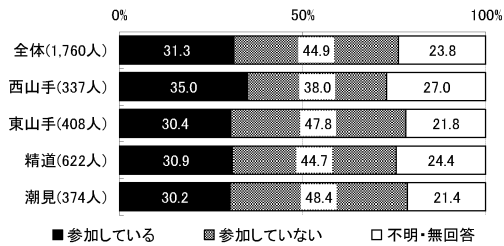
〔ボランティアのグループ〕



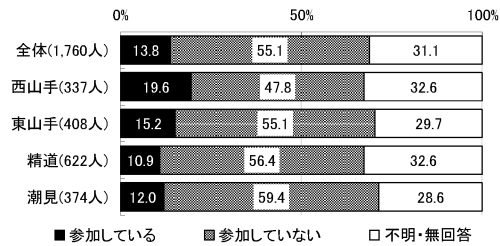
〔スポーツ関係のグループ〕



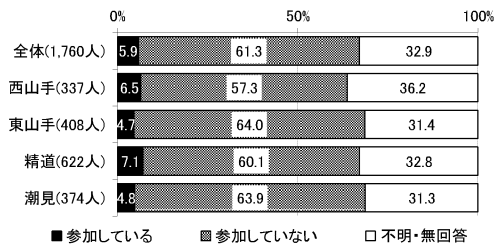
〔趣味関係のグループ〕



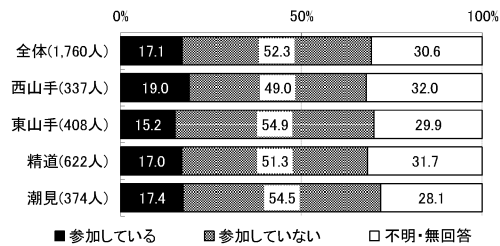
〔学習・教養サークル〕



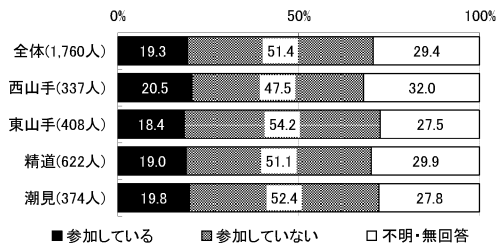
〔老人クラブ〕



〔町内会・自治会〕



〔収入のある仕事〕

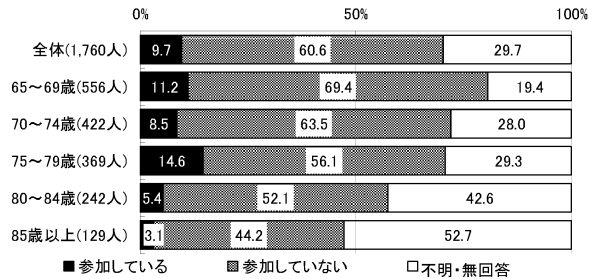


II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

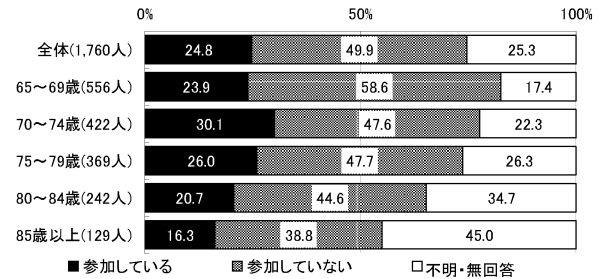
一般高齢者の地域活動について、年齢別にみると、「収入のある仕事」を除き、70～79歳を中心に「参加している」が多くなっています。

■年齢別（一般高齢者）

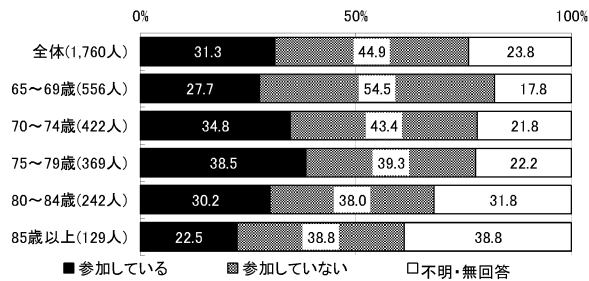
〔ボランティアのグループ〕



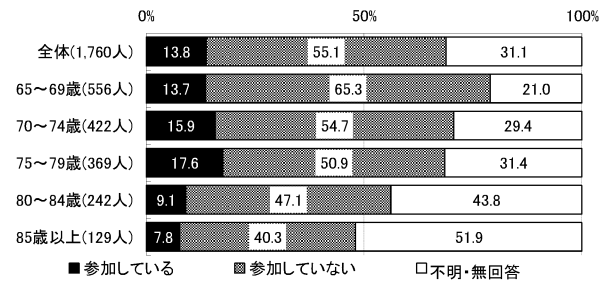
〔スポーツ関係のグループ〕



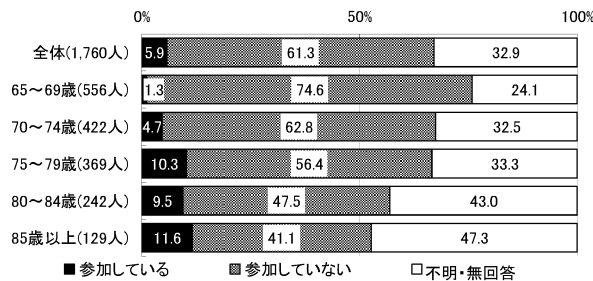
〔趣味関係のグループ〕



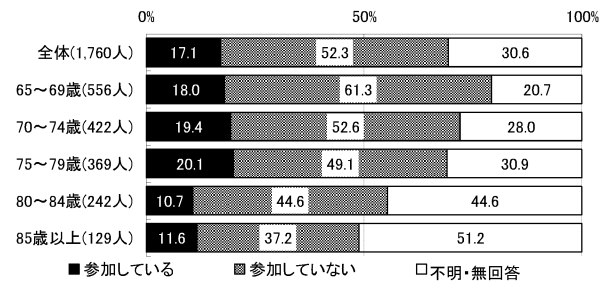
〔学習・教養サークル〕



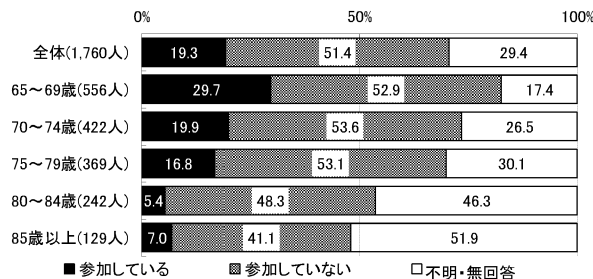
〔老人クラブ〕



〔町内会・自治会〕



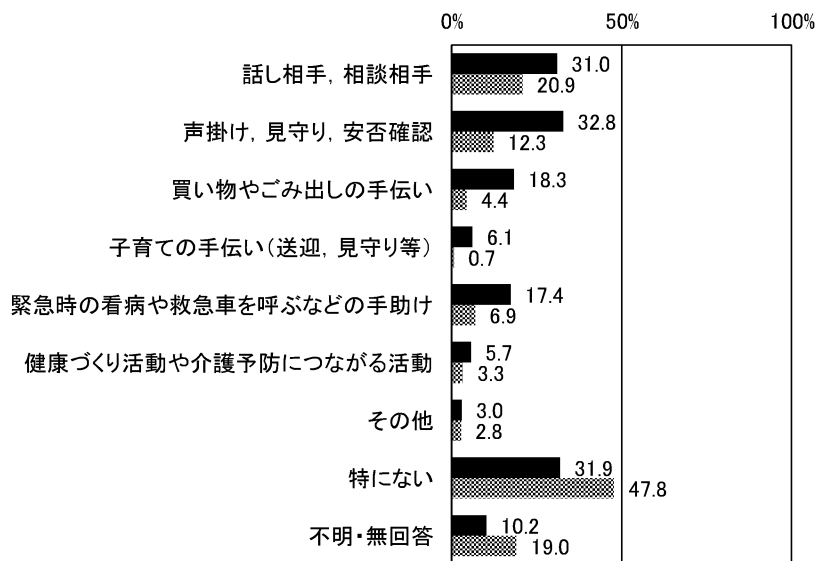
〔収入のある仕事〕



②地域の人に対してできる支援

一般高齢者は、「声掛け、見守り、安否確認」が32.8%で最も多く、次いで「特にない」が31.9%、「話し相手、相談相手」が31.0%となっています。「声掛け、見守り、安否確認」や「話し相手、相談相手」について、高齢者の社会参加・支え合い体制づくりの社会資源となりうる人が約3割いることがうかがえます。

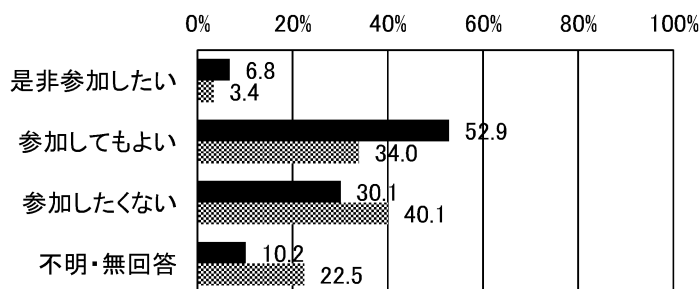
要支援認定者は、「特にない」が47.8%で最も多く、次いで「話し相手、相談相手」が20.9%、「声掛け、見守り、安否確認」が12.3%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

③地域づくり活動への参加意向

一般高齢者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて59.7%、要支援認定者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて37.4%となっています。

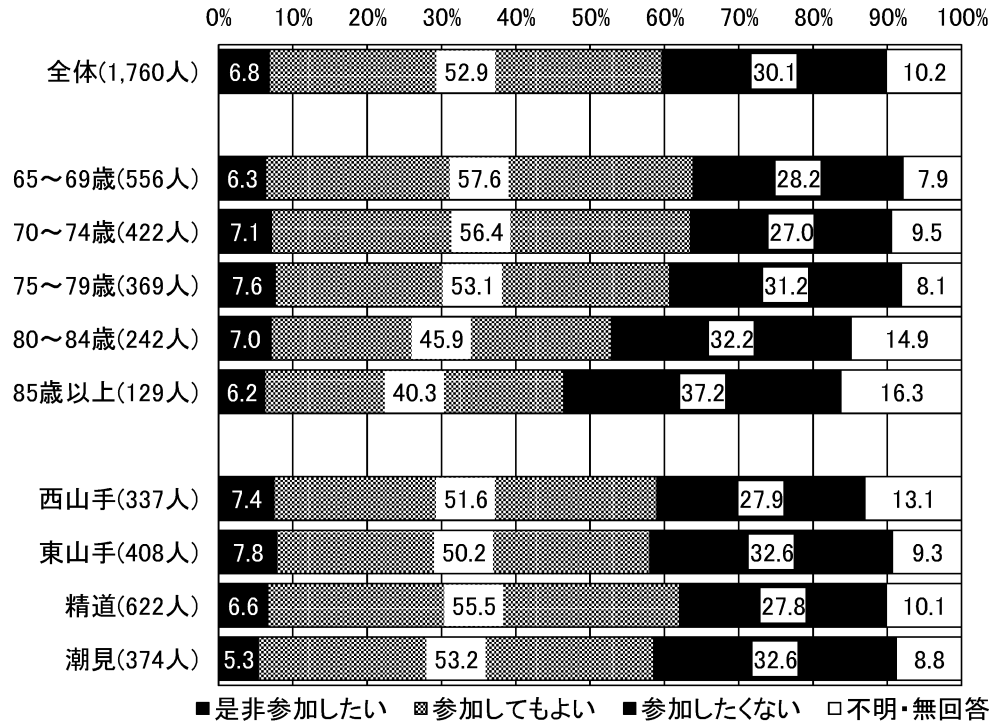


■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、年齢別にみると、いずれの年齢も「参加してもよい」が約4～5割となっています。

地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約5割となっています。

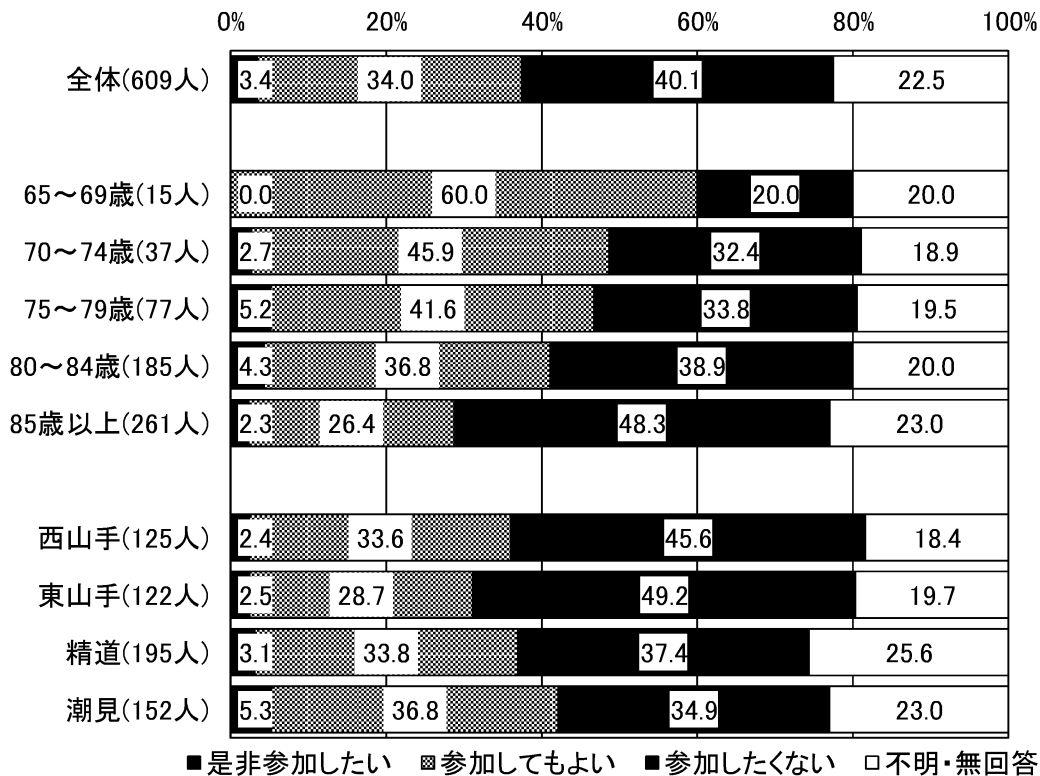
■年齢別、及び地域別（一般高齢者）



要支援認定者において、年齢別にみると、79歳以下は「参加してもよい」、80歳以上は「参加したくない」が多くなっています。

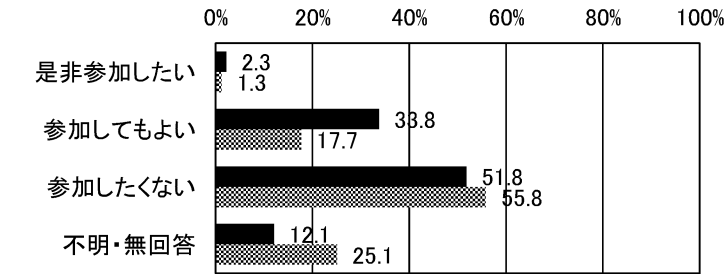
地域別にみると、潮見は「参加してもよい」が「参加したくない」を上回っています。

■年齢別、及び地域別（要支援認定者）



④地域づくり活動の企画・運営への参加意向

一般高齢者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて 36.1%，要支援認定者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」と合わせて 19.0%となっています。地域づくり活動の企画・運営（お世話役）として、高齢者の社会参加・支え合い体制づくりの社会資源となりうる人が約2割から3割いることがうかがえます。



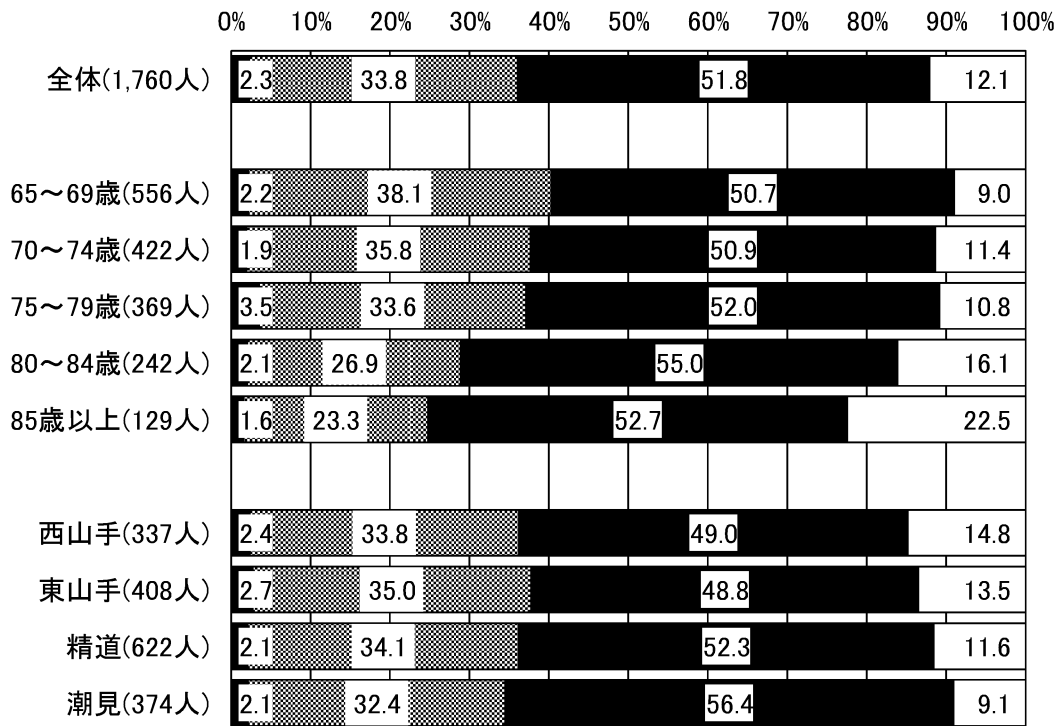
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、年齢別にみると、いずれの年齢も「参加してもよい」が約2～3割となっており、年齢が低いほど多くなっています。

地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約3割となっています。

■ 年齢別、及び地域別（一般高齢者）



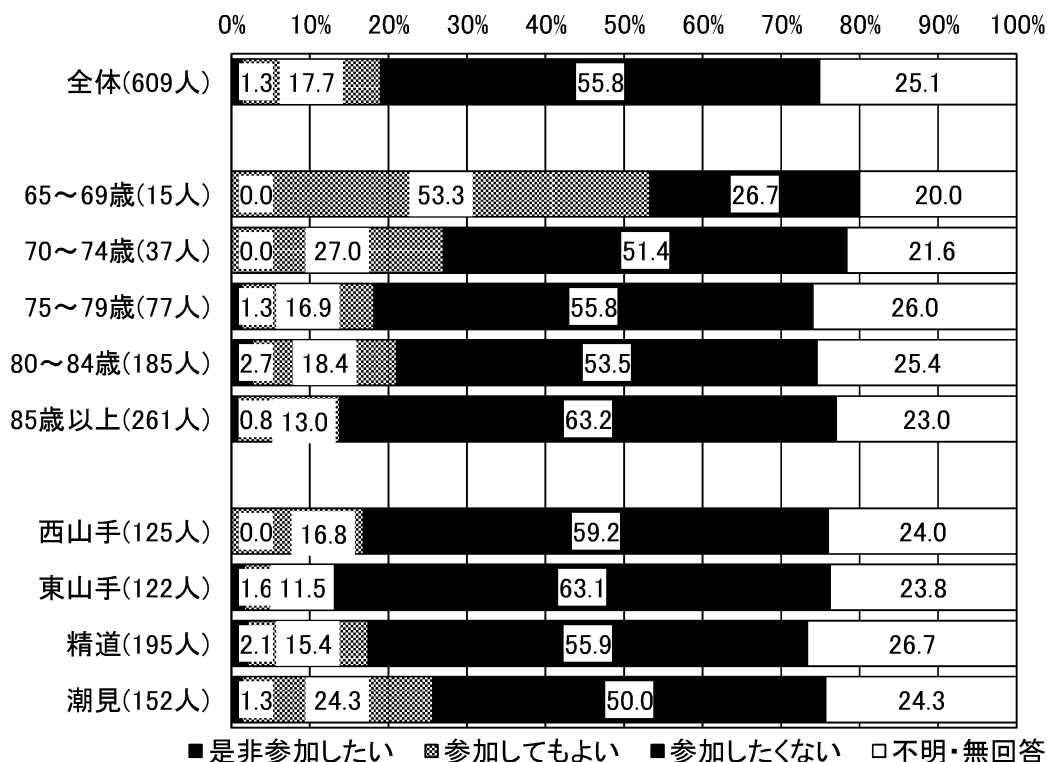
■是非参加したい ■参加してもよい ■参加したくない □不明・無回答

II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

要支援認定者において、年齢別にみると、69歳以下は「参加してもよい」、70歳以上は「参加したくない」が多くなっています。

地域別にみると、いずれの地域も「参加してもよい」が約1～2割となっています。

■年齢別、及び地域別（要支援認定者）

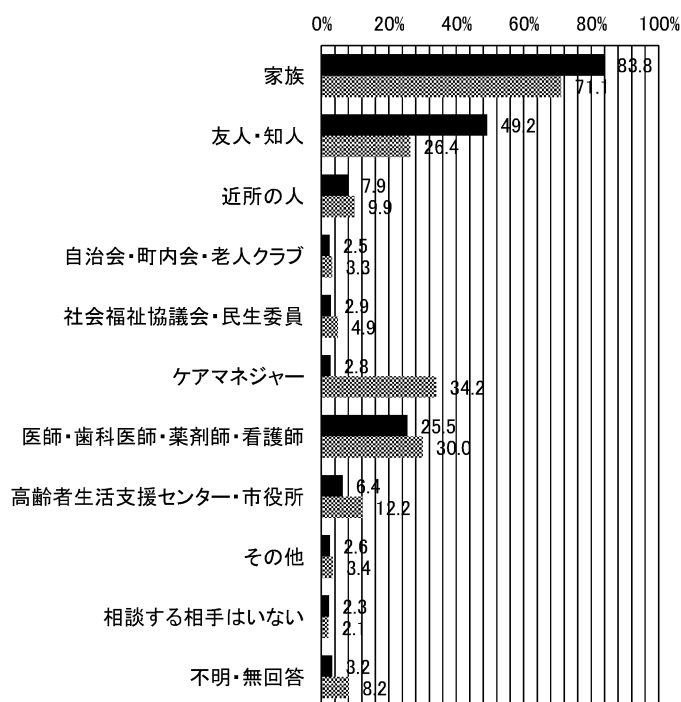


⑤何かあったときに相談する相手

一般高齢者は、「家族」が83.8%で最も多く、次いで「友人・知人」が49.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が25.5%となっています。

要支援認定者は、「家族」が71.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が34.2%、「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が30.0%となっています。

一般高齢者において、構成別にみると、「1人暮らし」では「家族などと同居」と比べて、「友人・知人」を相談相手としている人が多くなっています。「家族などと同居」では「家族」が多くなっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

Ⅱ 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

■家族構成別（一般高齢者）

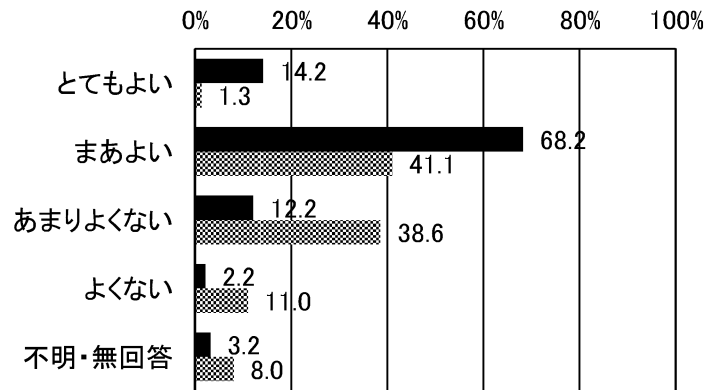
単位：%

	合計	家族	友人・知人	近所の人	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・薬剤師・看護師	高齢者生活支援センター・市役所	その他	相談する相手はいない	不明・無回答
全体	1,760	83.8	49.2	7.9	2.5	2.9	2.8		6.4	2.6	2.3	3.2
1人暮らし	327	54.1	57.8	12.5	2.8	4.3	2.1		8.3	6.4	6.1	4.0
家族など同居	1,398	90.7	47.5	6.9	2.5	2.6	2.9		6.1	1.8	1.4	3.1

(6) 現在の健康状態

一般高齢者は、「まあよい」が68.2%で最も多く、次いで「とてもよい」が14.2%、「あまりよくない」が12.2%となっています。

要支援認定者は、「まあよい」が41.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」が38.6%、「よくない」が11.0%となっています。

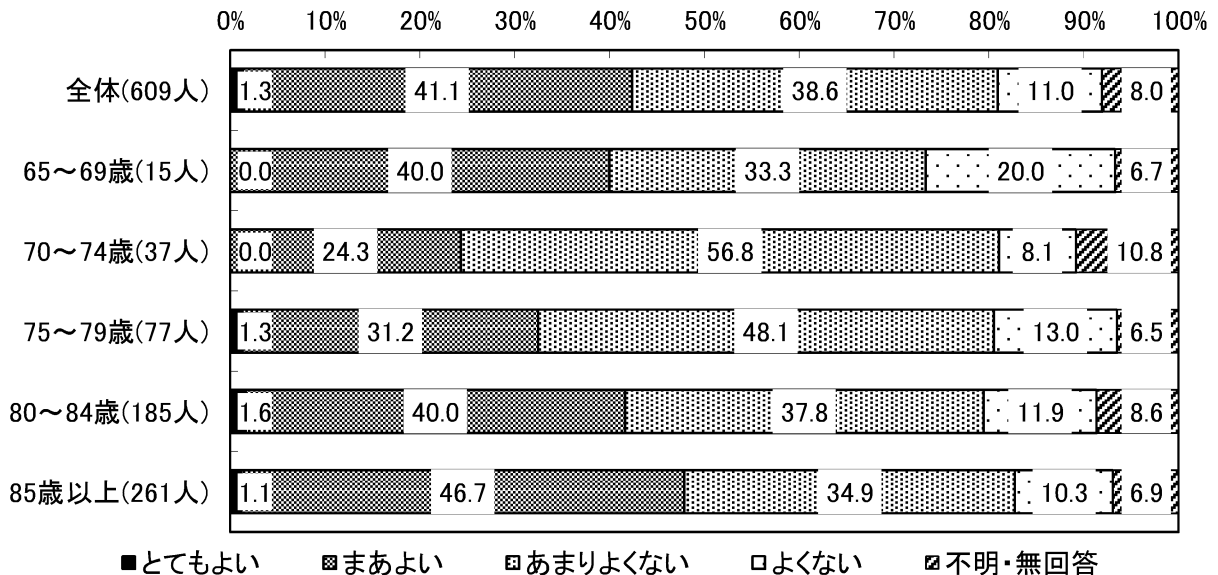


■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

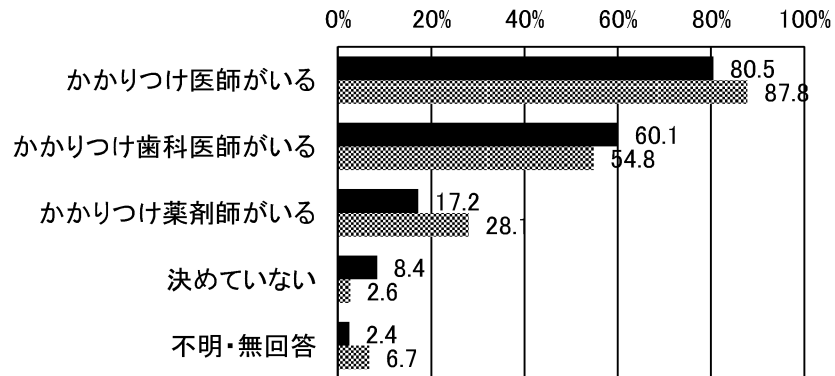
要支援認定者において、年齢別にみると、70歳以上ではよいと感じている人（「よい」と「まあよい」の合計）が増加する傾向にあります。

■年齢別（要支援認定者）



(7) かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の有無

一般高齢者，要支援認定者は，「かかりつけ医師がいる」は8割以上，「かかりつけ歯科医師がいる」は約5割半ばから6割います。



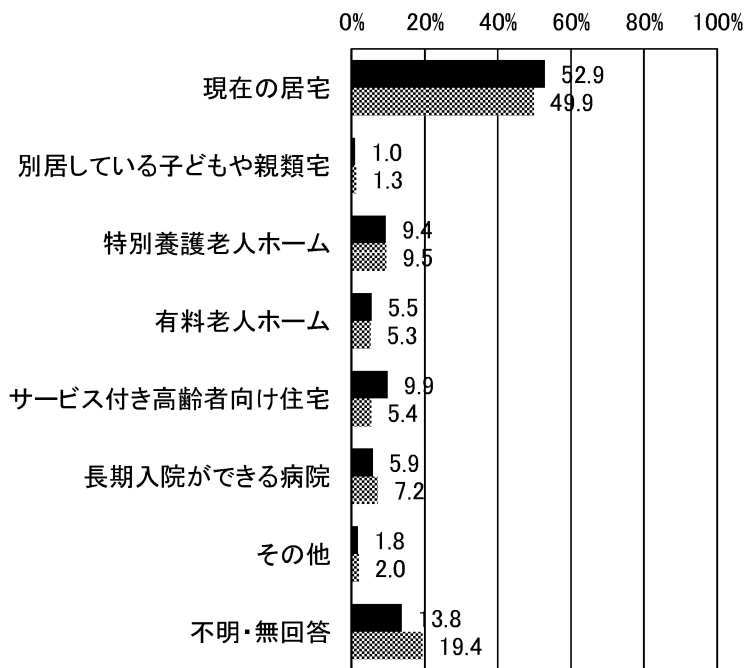
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)

※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

(8) 将来、介護を受ける場所への意向

一般高齢者は、「現在の居宅」が52.9%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が9.9%、「特別養護老人ホーム」が9.4%となっています。

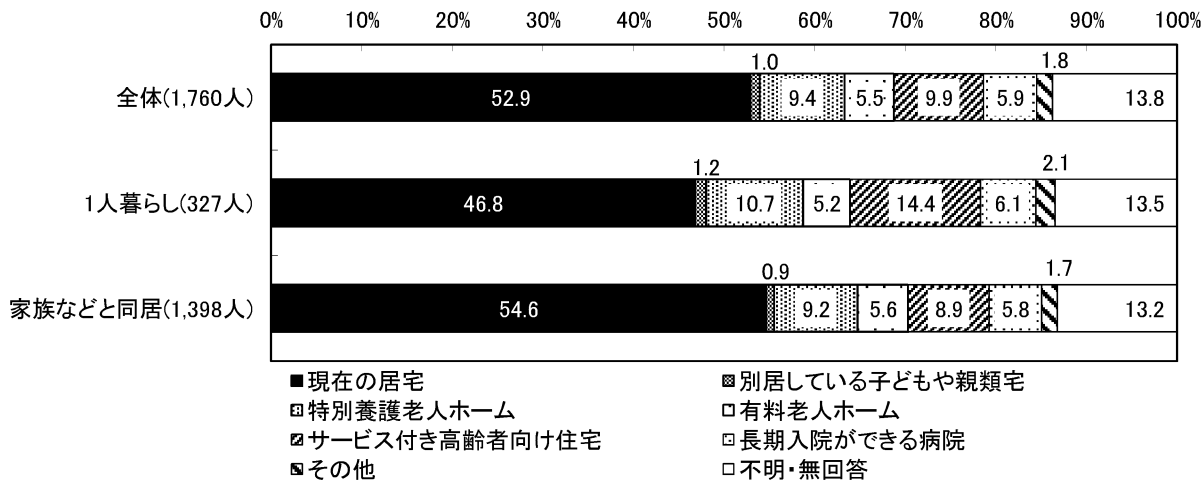
要支援認定者は、「現在の居宅」が49.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が9.5%、「長期入院ができる病院」が7.2%となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

一般高齢者において、家族構成別にみると、いずれの家族構成においても、「現在の居宅」が4～5割となっています。

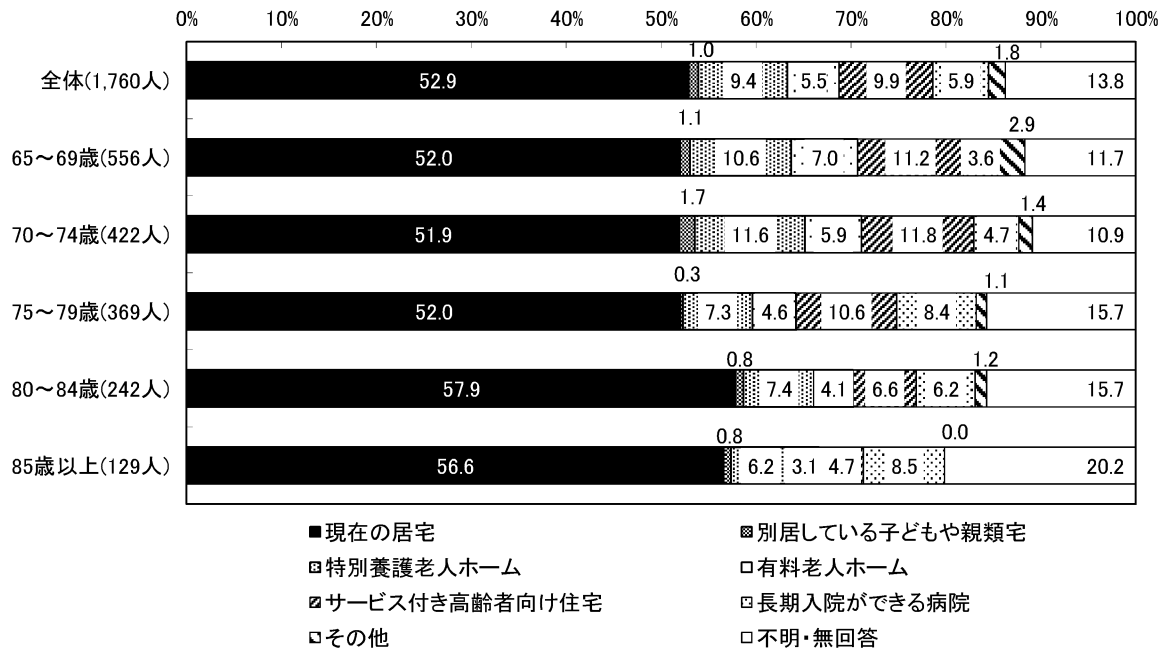
■ 家族構成別（一般高齢者）



II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

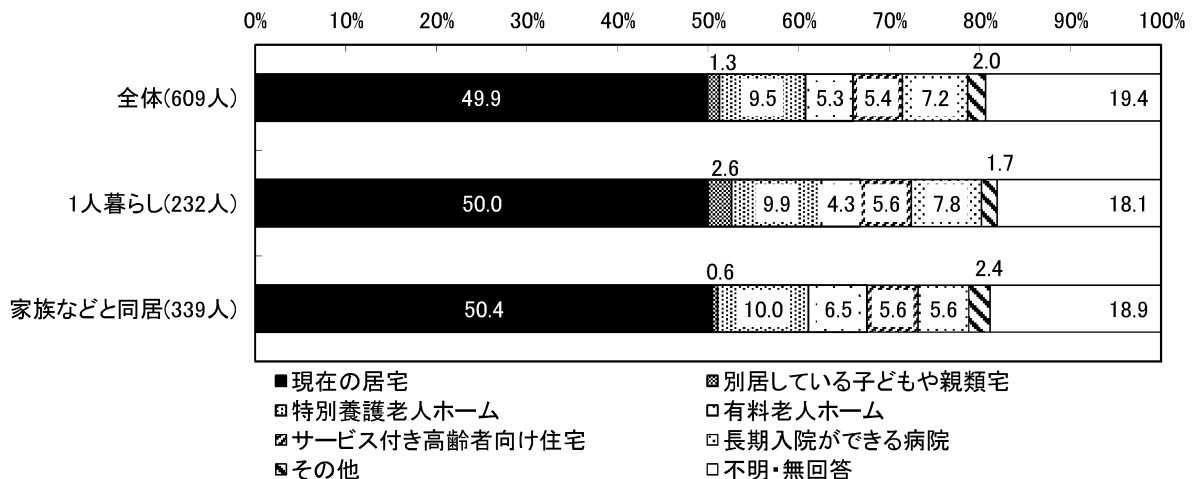
一般高齢者において、年齢別にみると、いずれの年齢も、「現在の居宅」が約5割となっています。次いで、79歳以下では「サービス付き高齢者向け住宅」、80～84歳では「特別養護老人ホーム」、85歳以上では「長期入院ができる病院」となっています。

■年齢別（一般高齢者）



要支援認定者において、家族構成別にみると、いずれの家族構成においても、「現在の居宅」が約5割となっています。

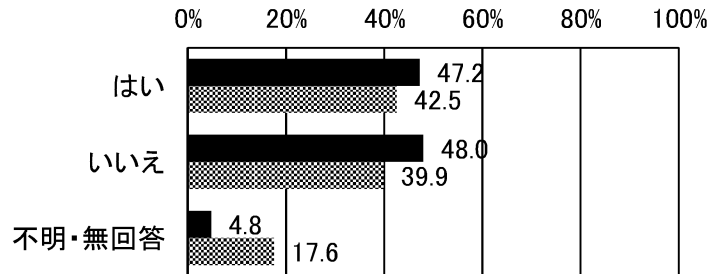
■家族構成別（要支援認定者）



(9) 介護の経験について

① 介護経験の有無

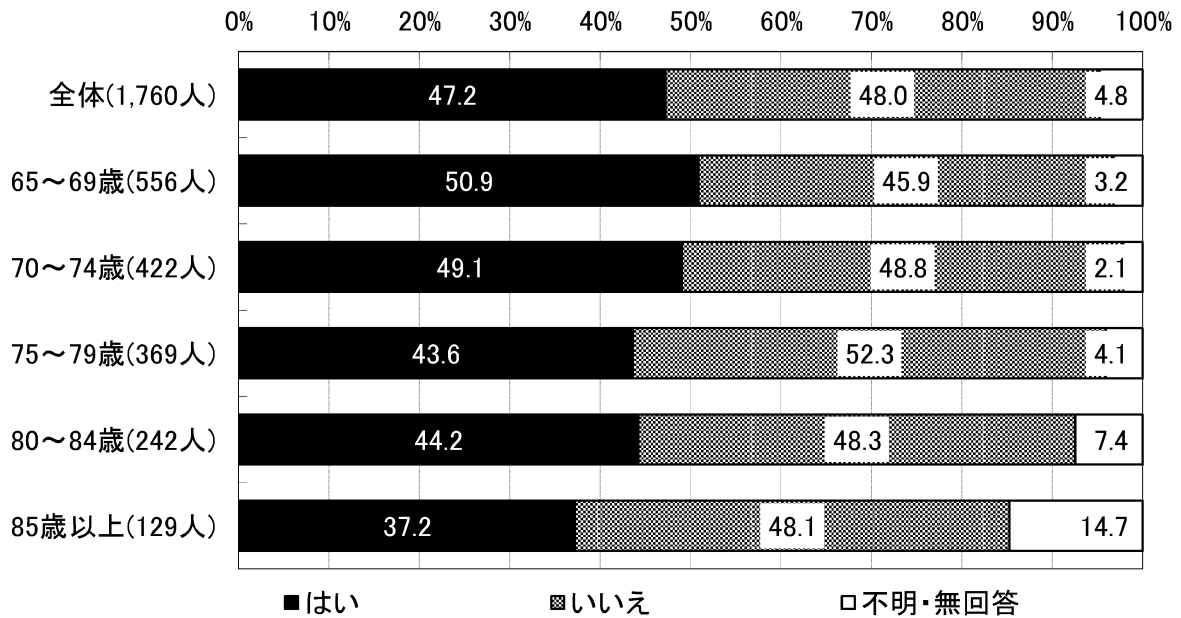
一般高齢者、要支援認定者ともに、「はい」(介護をしたことがある)が約4割となっています。
 一般高齢者について、年齢別にみると、いずれの年代においても、「はい」(介護をしたことがある)が約4～5割となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)

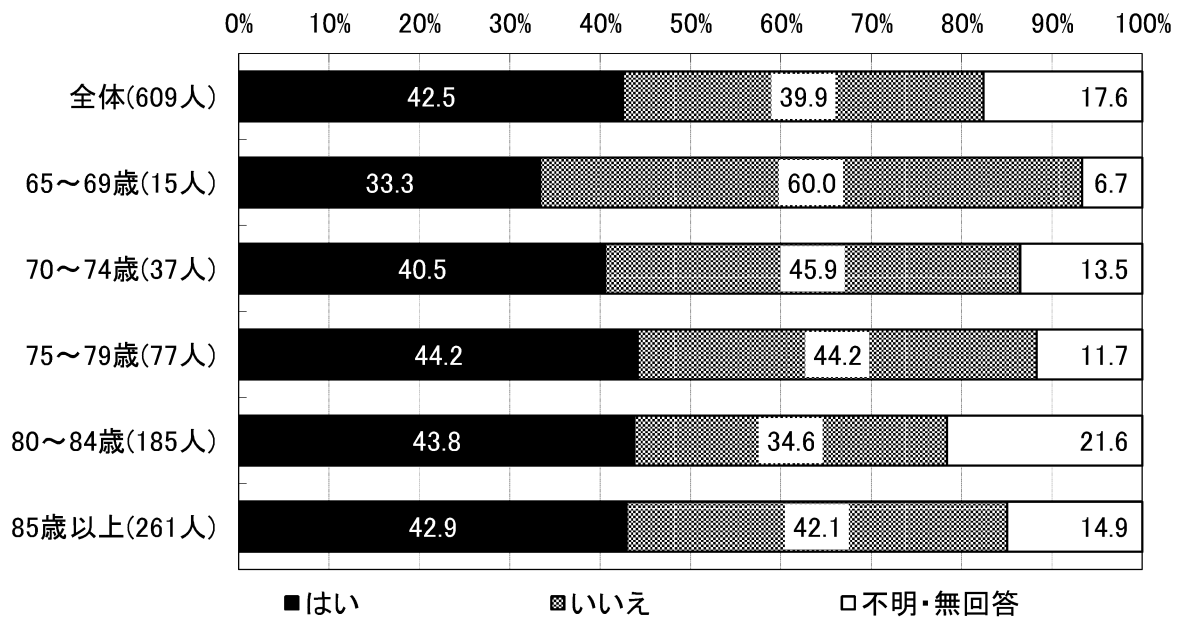
一般高齢者において、年齢別にみると、74歳以下では、「はい」が「いいえ」より上回っています。
 要支援認定者において、年齢別にみると、65～79歳まで、「はい」が上昇する傾向にあります。

■ 年齢別 (一般高齢者)



II 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〔概要〕

■年齢別（要支援認定者）

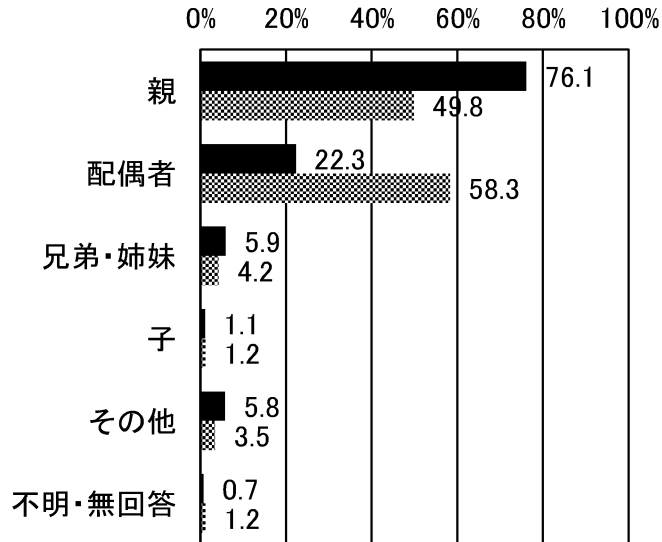


②誰の介護をしたか(現在している場合も含む)

(介護経験のある方)

一般高齢者は、「親」が76.1%で最も多く、次いで「配偶者」が22.3%、「兄弟・姉妹」が5.9%となっています。

要支援認定者は、「配偶者」が58.3%で最も多く、次いで「親」が49.8%、「兄弟・姉妹」が4.2%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=831)

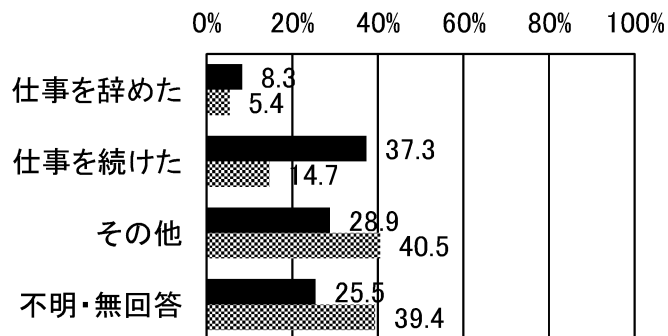
※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=259)

③介護離職の状況

(介護経験のある方)

一般高齢者は、「仕事を続けた」が37.3%で最も多く、次いで「その他」が28.9%、「仕事を辞めた」が8.3%となっています。

要支援認定者は、「その他」が40.5%で最も多く、次いで「仕事を続けた」が14.7%、「仕事を辞めた」が5.4%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=831)

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=259)

2 在宅介護実態調査

(1) 世帯類型

「単身世帯」が33.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.9%、「その他」が30.1%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
単身世帯	(n=433)						
夫婦のみ世帯	(n=396)						
その他	(n=386)						
不明・無回答	(n=66)						
全体	(n=1,281)						

(2) 訪問診療の利用状況

「利用していない」が74.2%、「利用している」が21.5%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している	(n=275)						
利用していない	(n=951)						
不明・無回答	(n=55)						
全体	(n=1,281)						

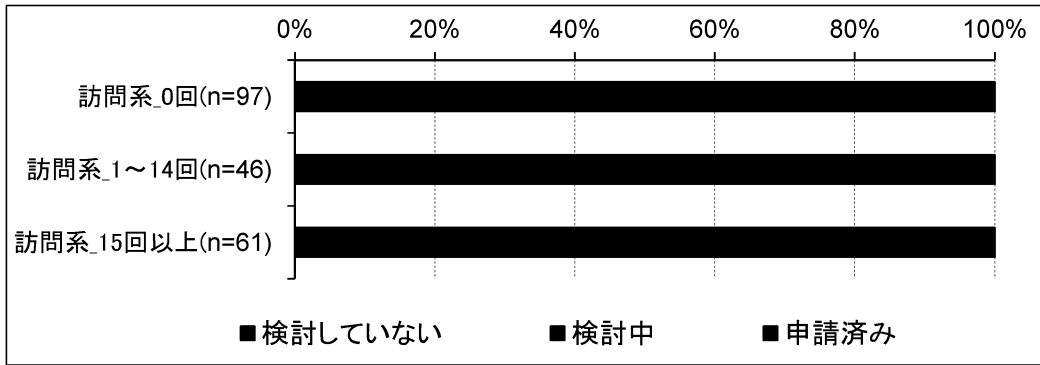
(3) 施設等への入所・入居の検討状況

「入所・入居は検討していない」が72.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.0%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
入所・入居は検討していない	(n=928)						
入所・入居を検討している	(n=201)						
すでに入所・入居申し込みをしている	(n=64)						
不明・無回答	(n=88)						
全体	(n=1,281)						

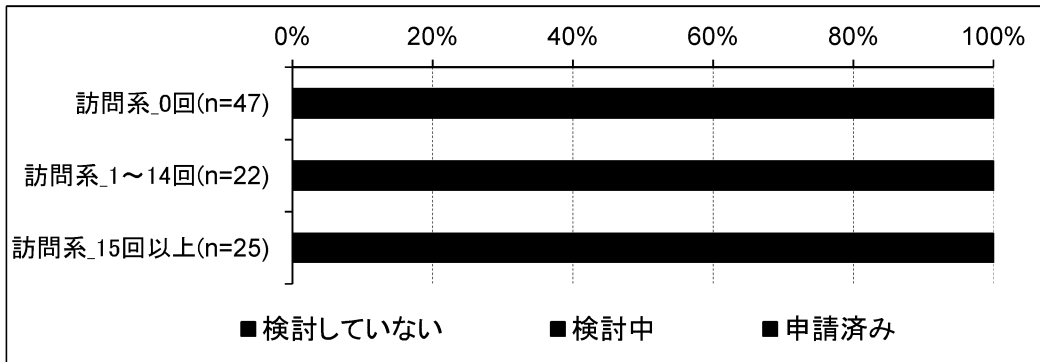
■ サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系，要介護3以上）

訪問系サービス※の利用回数が多いほど、「検討していない」が多くなっています。



■ サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系，認知症Ⅲ以上）

訪問系サービス※の利用回数が多いほど、「検討していない」が多くなっています。

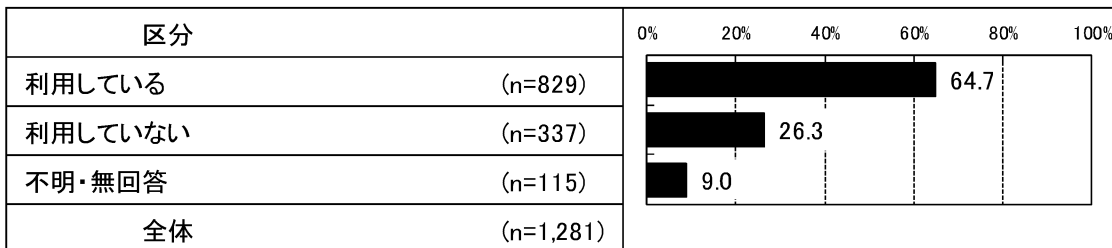


※「訪問系サービス」とは、（介護予防）訪問介護，（介護予防）訪問入浴介護，（介護予防）訪問看護，（介護予防）訪問リハビリテーション，（介護予防）居宅療養 管理指導，夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム，老人保健施設，介護療養型医療施設，特定施設（有料老人ホーム等），グループホーム，地域密着型特定施設，地域密着型特別養護老人ホームを指します。

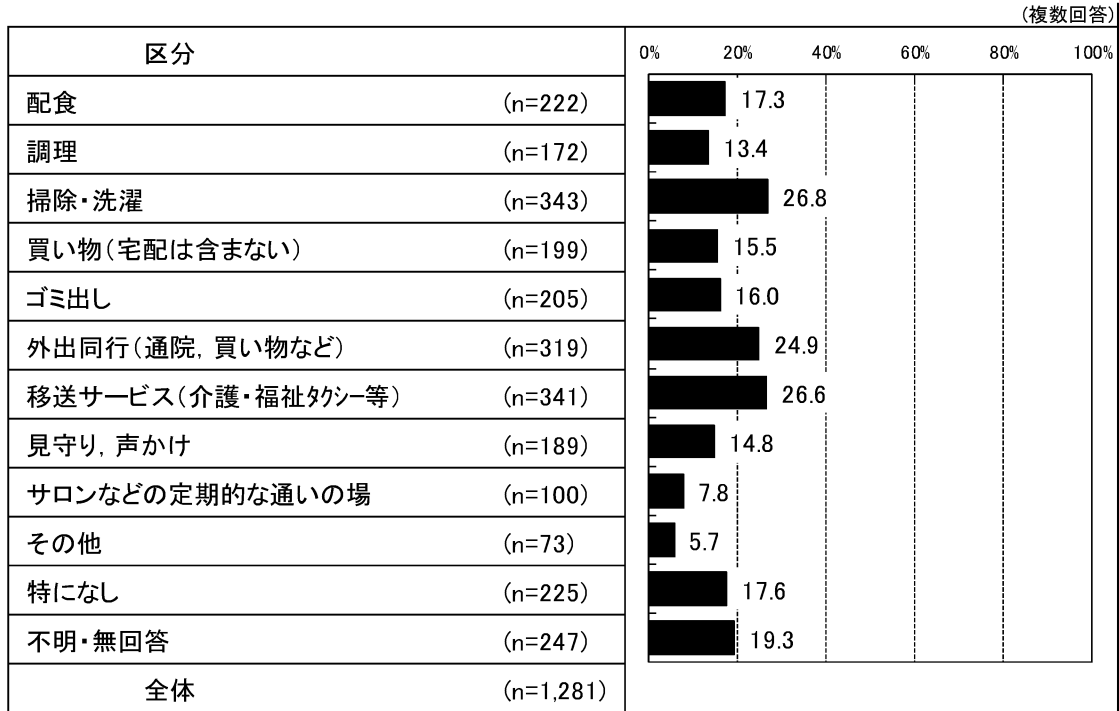
(4) 介護保険サービスの利用状況

「利用している」が 64.7%，「利用していない」が 26.3%となっています。



(5) 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

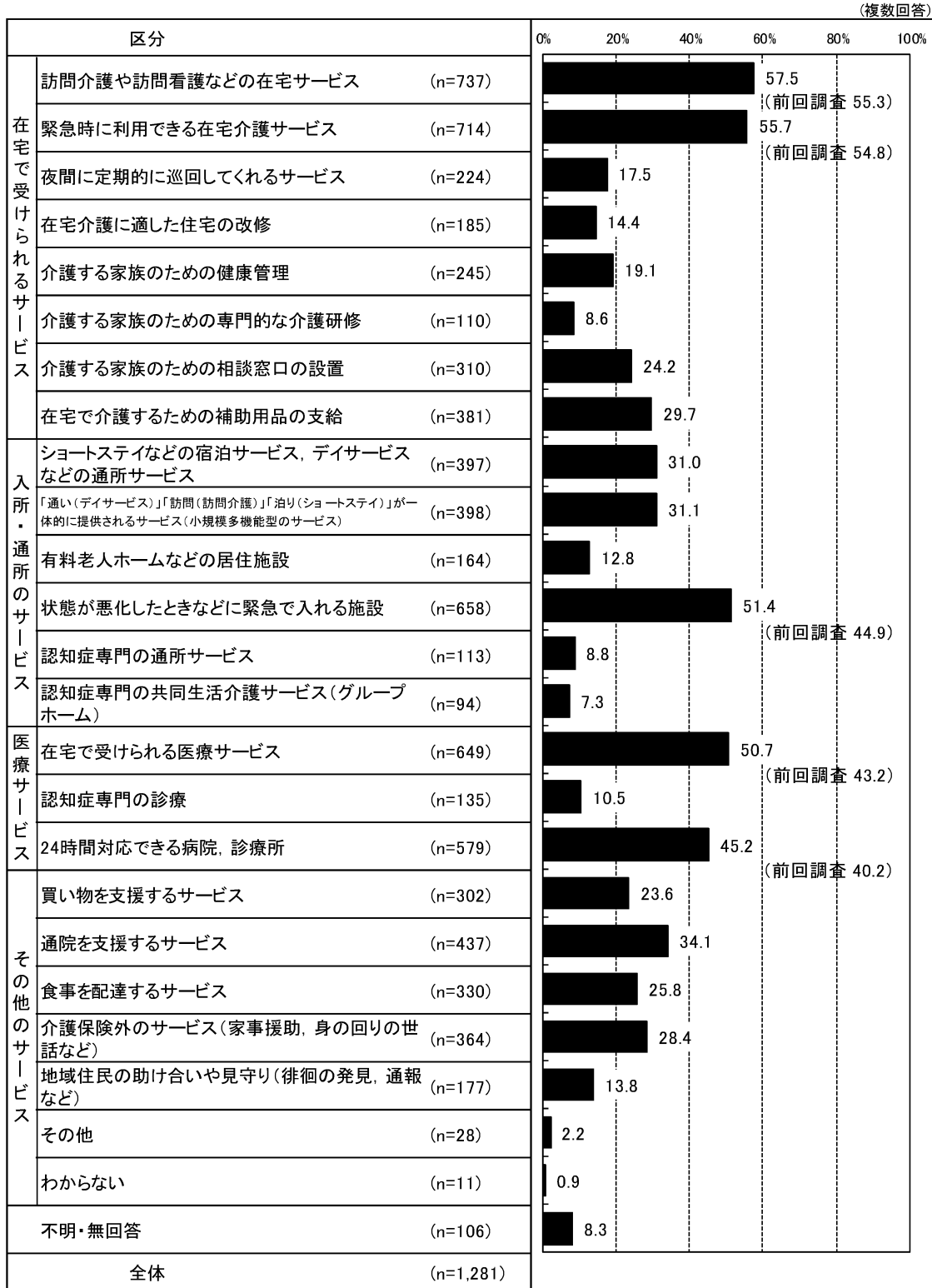
「掃除・洗濯」が 26.8%で最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 26.6%、「外出同行(通院, 買い物など)」が 24.9%となっています。



(6) 今後のサービス利用意向

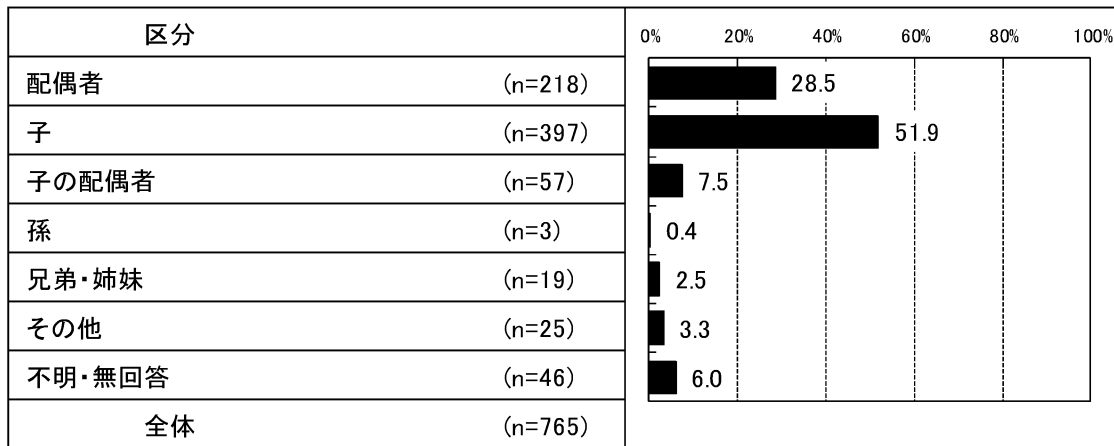
「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が 57.5%で最も多く、次いで「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が 55.7%、「状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設」が 51.4%となっています。

前回調査と上位 5 位を比較すると、いずれのサービスも回答割合が増加しています。



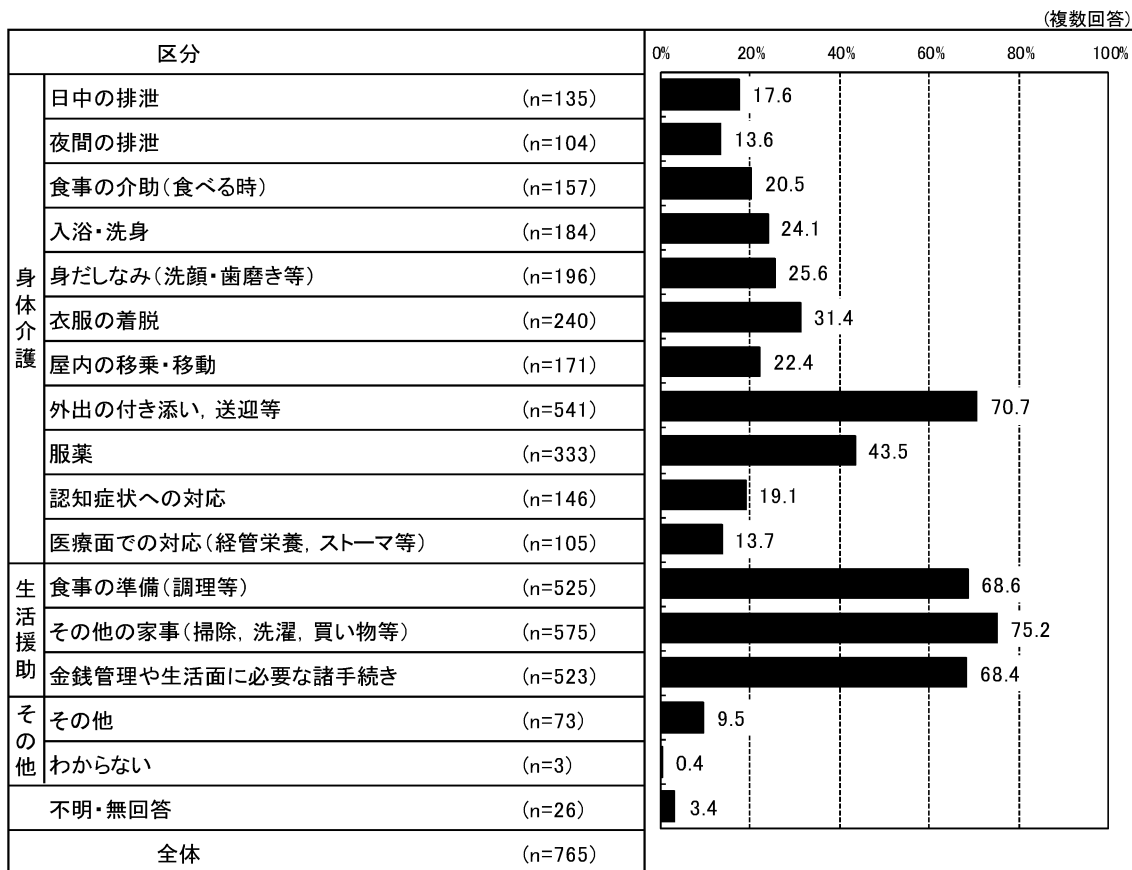
(1) 介護者の続柄

「子」が51.9%で最も多く、次いで「配偶者」が28.5%、「子の配偶者」が7.5%となっています。



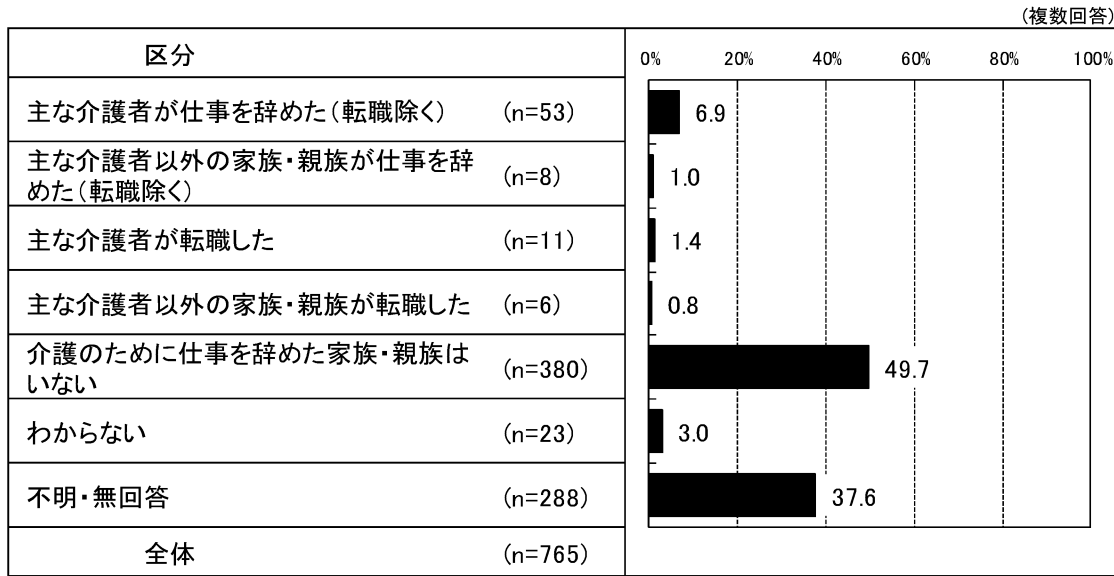
(2) 介護の内容

「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」が75.2%で最も多く、次いで「外出の付き添い，送迎等」が70.7%、「食事の準備（調理等）」が68.6%となっています。



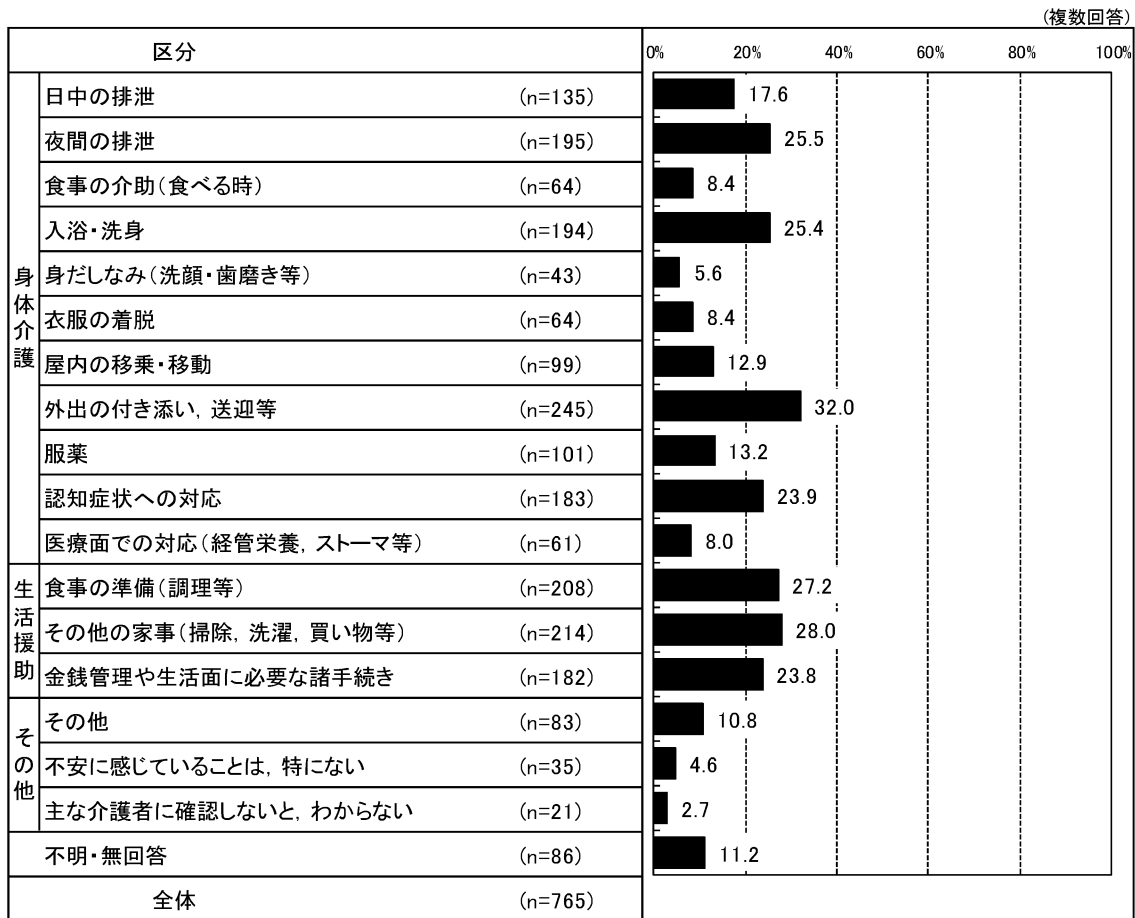
(3) 介護を理由とした離職状況（過去1年間）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が49.7%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.9%、「わからない」が3.0%となっています。



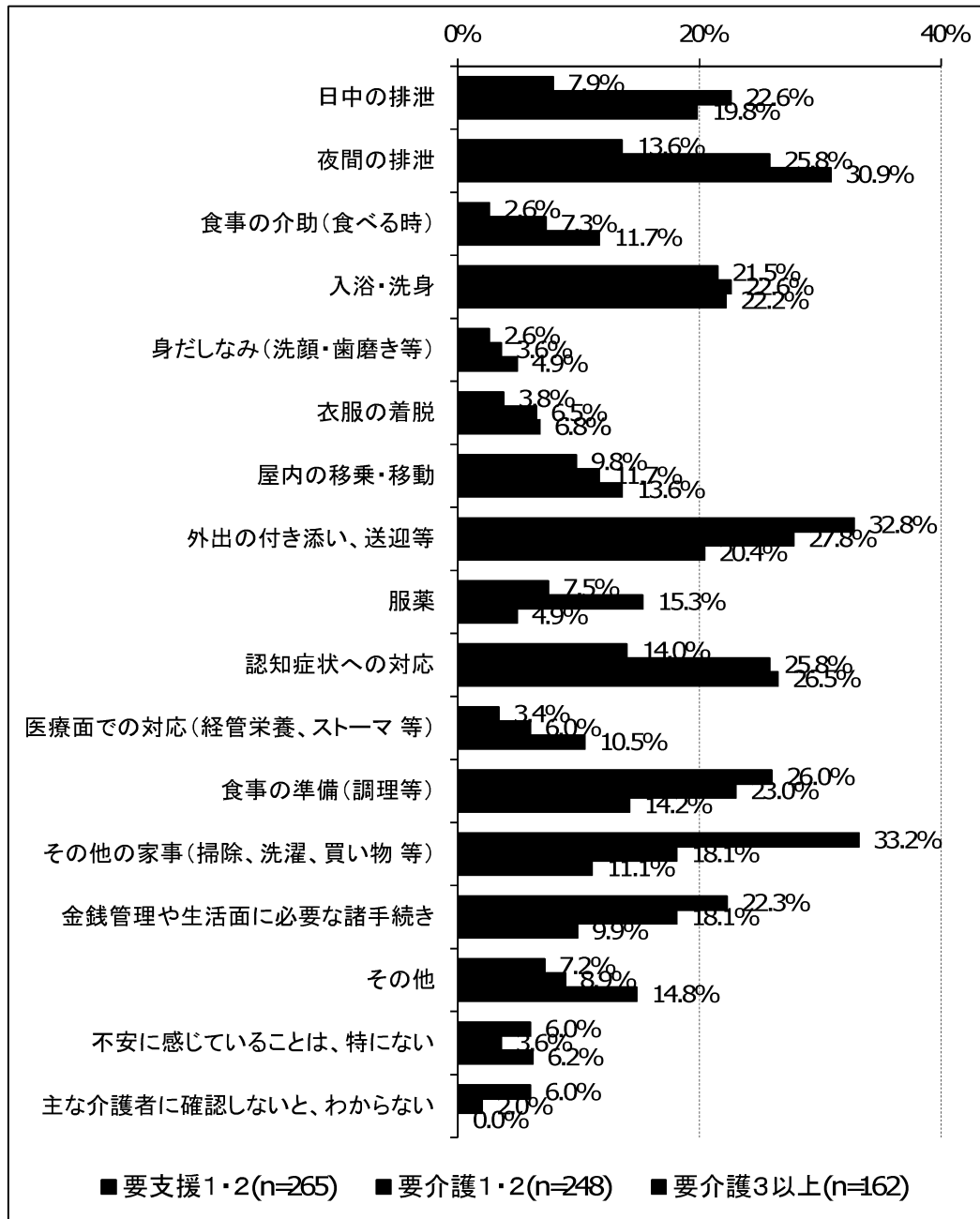
(4) 不安を感じる介護等

「外出の付き添い、送迎等」が32.0%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が28.0%、「食事の準備（調理等）」が27.2%となっています。



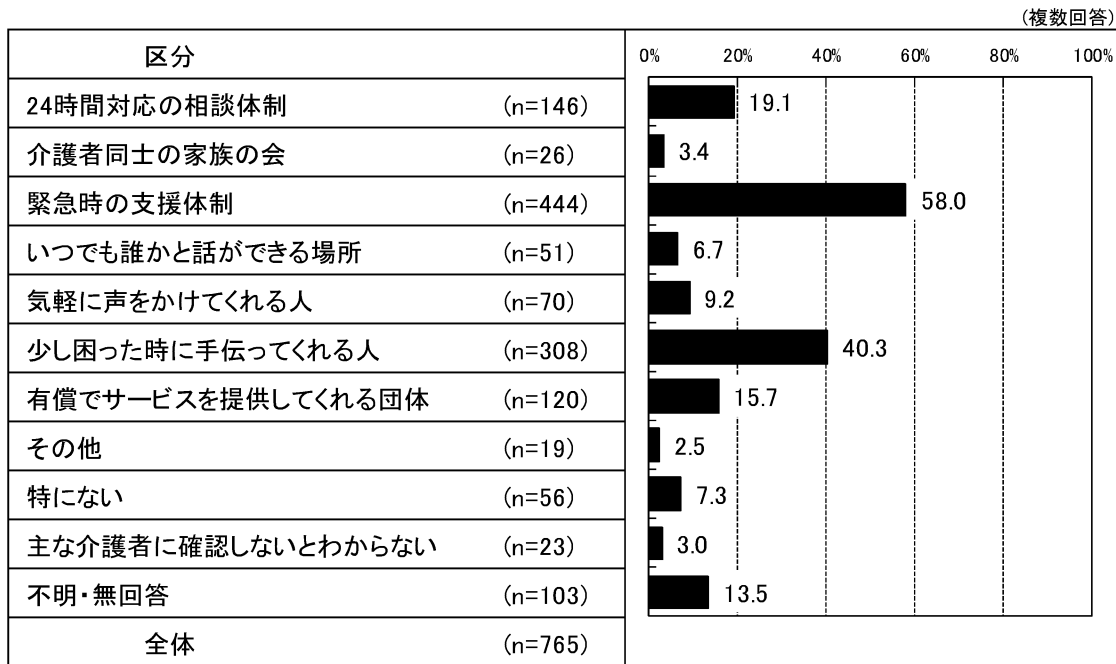
■要介護度別

要支援1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（33.2%）、要介護1・2では「外出の付き添い、送迎等」（27.8%）、要介護3以上では「夜間の排泄」（30.9%）に係る介護者不安が大きくなっています



(5) 必要と感じる地域での支援

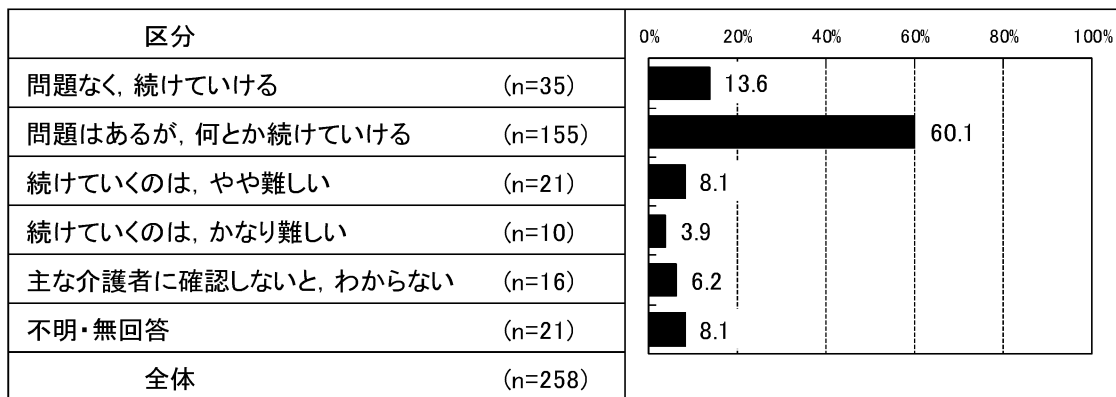
「フルタイム」または「パートタイム」で働いている方のうち「緊急時の支援体制」が 58.0%で最も多く、次いで「少し困った時に手伝ってくれる人」が 40.3%、「24 時間対応の相談体制」が 19.1%となっています。



(6) 今後の介護離職の可能性

(「フルタイム」または「パートタイム」で働いている方)

「問題はあるが、何とか続けていける」が 60.1%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 13.6%、「続けていくのは、やや難しい」が 8.1%となっています。



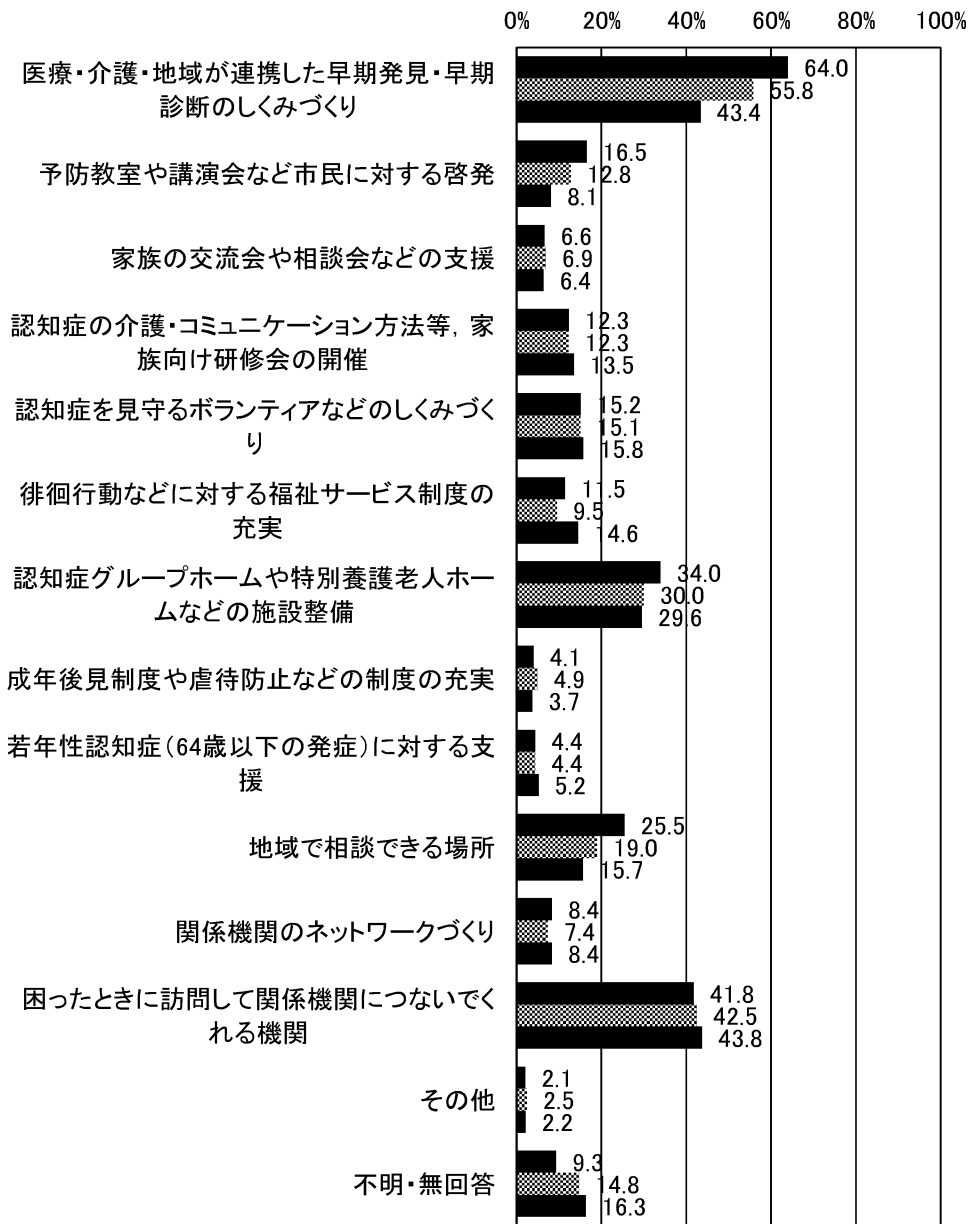
3 各調査における共通設問

(1) 認知症施策として、市が力を入れるべきこと

一般高齢者は、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が64.0%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が41.8%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が34.0%となっています。

要支援認者は、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が55.8%で最も多く、次いで「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が42.5%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が30.0%となっています。

要支援・要介護認定者は、「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が43.8%で最も多く、次いで「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が43.4%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が29.6%となっています。



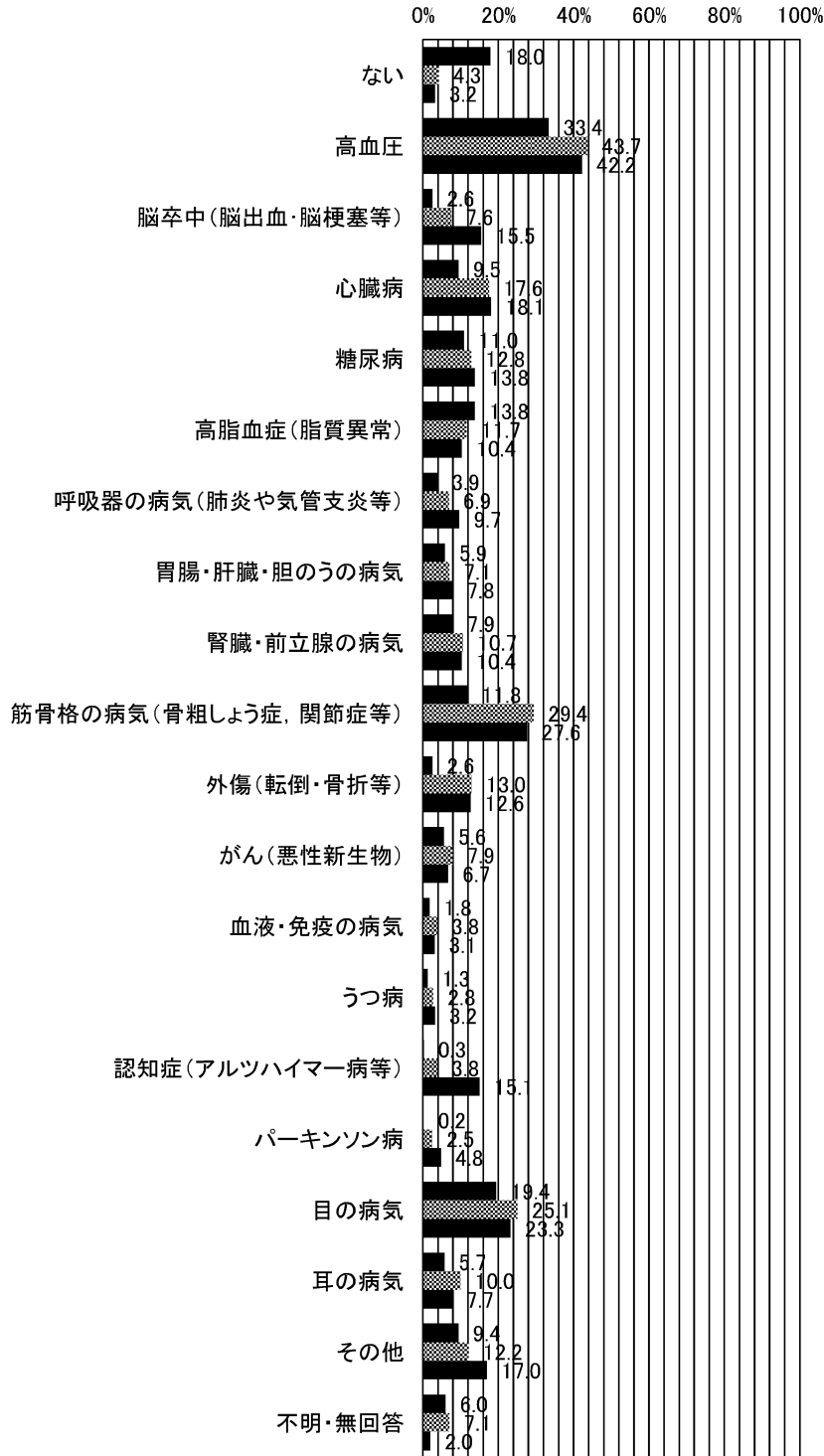
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
 ■ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

(2) 現在治療中、または後遺症のある病気

一般高齢者は、「高血圧」が33.4%で最も多く、次いで「目の病気」が19.4%、「ない」が18.0%となっています。

要支援認者は、「高血圧」が43.7%で最も多く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」が29.4%、「目の病気」が25.1%となっています。

要支援・要介護認定者は、「高血圧」が42.2%で最も多く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」が27.6%、「目の病気」が23.3%となっています。



■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
 ■在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

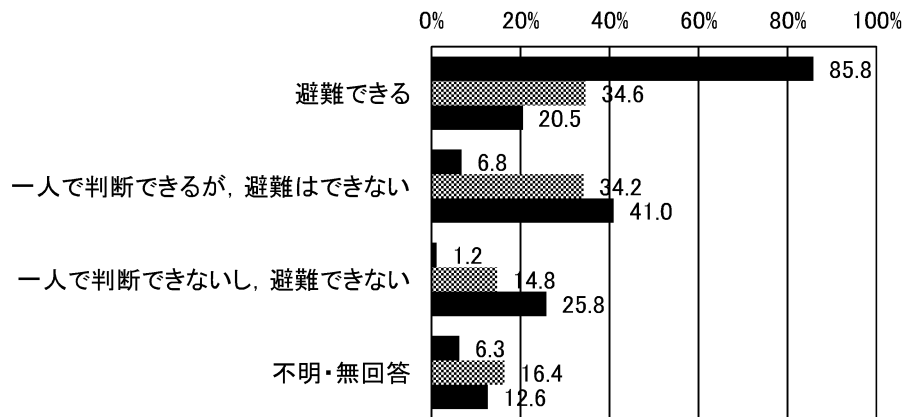
(3) 災害時や緊急時の対応

① 緊急時等の一人での避難

一般高齢者は、「避難できる」が85.8%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が6.8%、「一人で判断できないし、避難できない」が1.2%となっています。

要支援認者は、「避難できる」が34.6%で最も多く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」が34.2%、「一人で判断できないし、避難できない」が14.8%となっています。

要支援・要介護認定者は、「一人で判断できるが、避難はできない」が41.0%で最も多く、次いで「一人で判断できないし、避難できない」が25.8%、「避難できる」が20.5%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

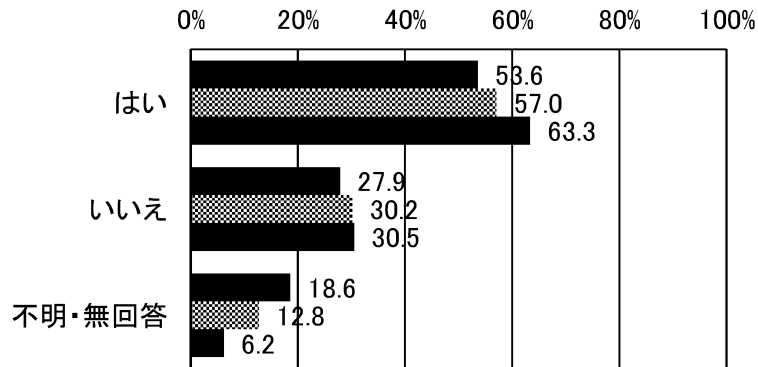
②緊急時等の手助けを頼める人の有無

(緊急時に一人で避難できない方)

一般高齢者は、「はい」(いる)が53.6%、「いいえ」が27.9%となっています。

要支援認者は、「はい」(いる)が57.0%、「いいえ」が30.2%となっています。

要支援・要介護認定者は、「いる」が63.3%、「いない」が30.5%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=140)
- ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=298)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=856)

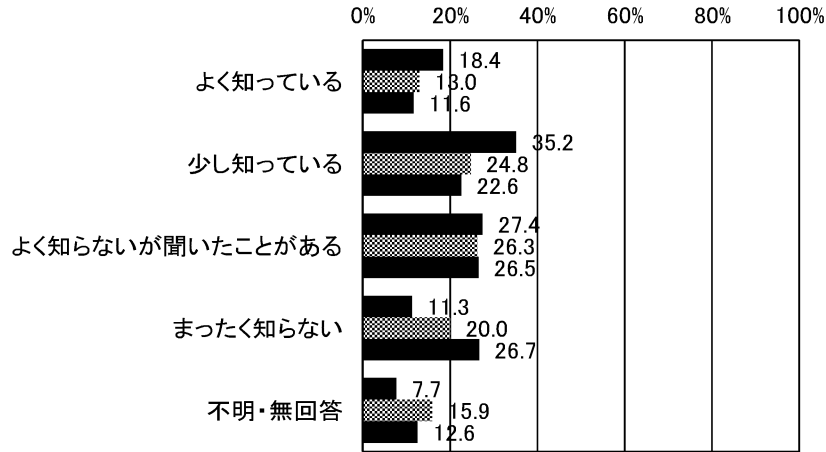
(4) 権利擁護の取り組みについて

① 成年後見人制度の認知状況

一般高齢者は、「少し知っている」が35.2%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」27.4%、「よく知っている」が18.4%となっています。

要支援認者は、「よく知らないが聞いたことがある」が26.3%で最も多く、次いで「少し知っている」が24.8%、「まったく知らない」が20.0%となっています。

要支援・要介護認定者は、「まったく知らない」が26.7%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が26.5%、「少し知っている」が22.6%となっています。



■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
 ■ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

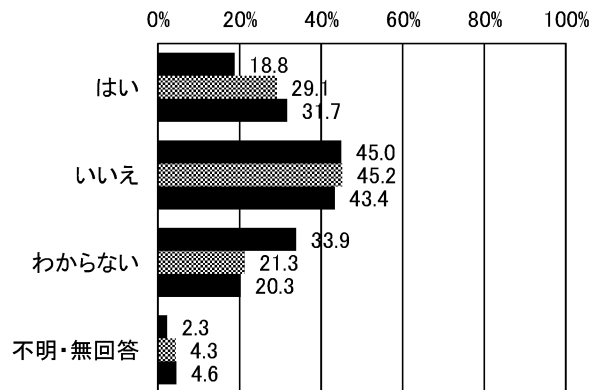
② 成年後見人制度の利用意向

(成年後見制度を知っている方)

一般高齢者は、「いいえ」(したくない)が45.0%で最も多く、次いで「わからない」が33.9%、「はい」が18.8%となっています。

要支援認者は、「いいえ」(したくない)が45.2%で最も多く、次いで「はい」が29.1%、「わからない」が21.3%となっています。

要支援・要介護認定者は、「いいえ」(したくない)が43.4%で最も多く、次いで「はい」が31.7%、「わからない」が20.3%となっています。



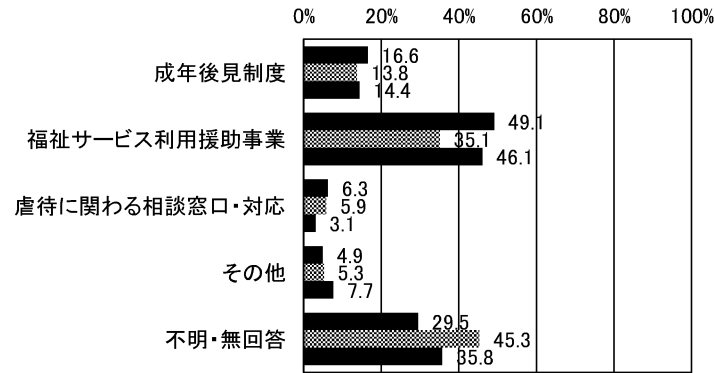
■ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=943)
 ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=230)
 ■ 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=438)

(5) 高齢者の権利擁護について知りたいこと

一般高齢者は、「福祉サービス利用援助事業」が 49.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 16.6%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が 6.3%となっています。

要支援認者は、「福祉サービス利用援助事業」が 35.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 13.8%、「虐待に関わる相談窓口・対応」が 5.9%となっています。

要支援・要介護認定者は、「福祉サービス利用援助事業」が 46.1%で最も多く、次いで「成年後見制度」が 14.4%、「その他」が 7.7%となっています。



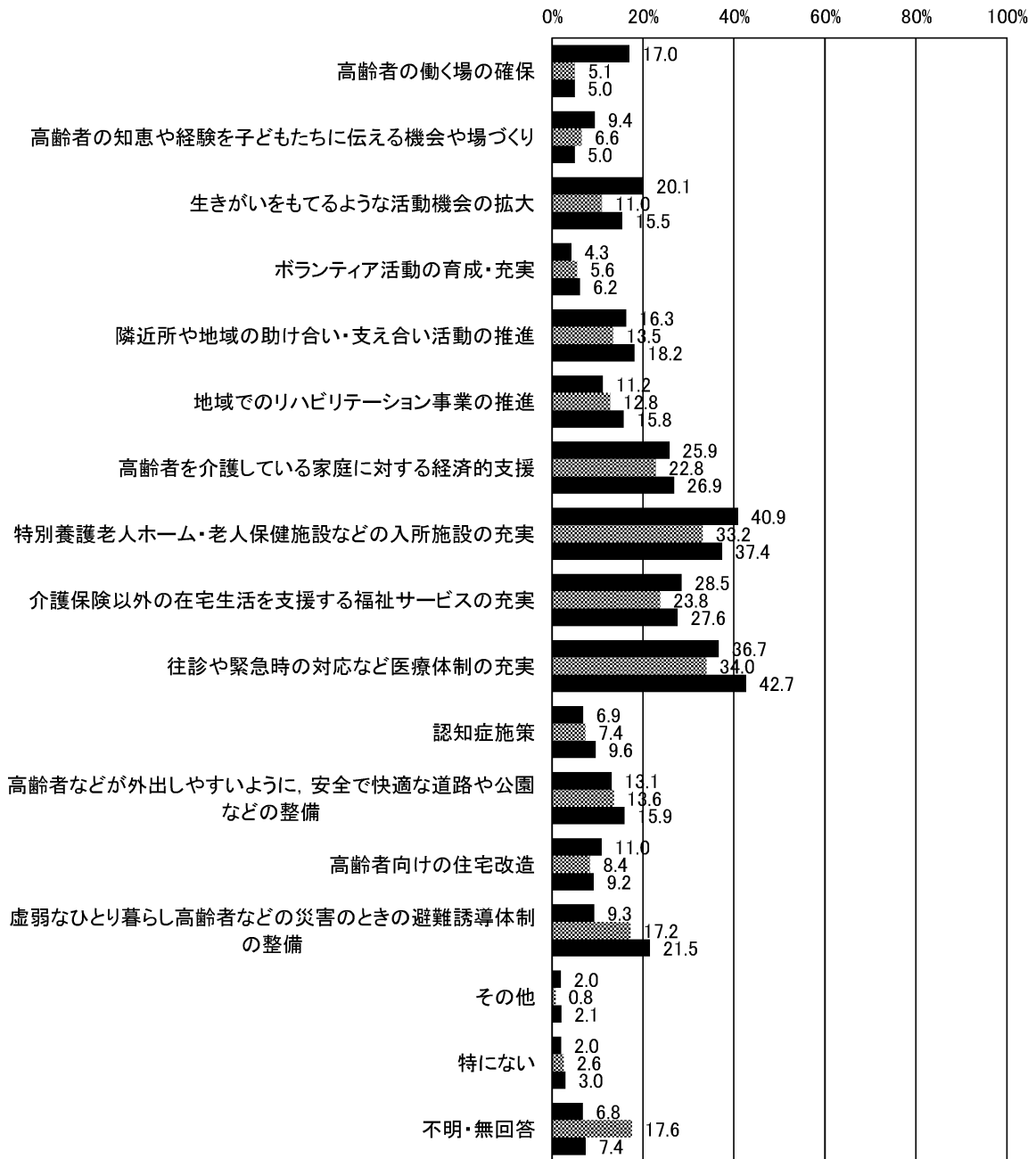
- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

(6) 高齢化施策として、市が力を入れるべきこと

一般高齢者は、「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が40.9%で最も多く、次いで「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が36.7%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が28.5%となっています。

要支援認者は、「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が34.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が33.2%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が23.8%となっています。

要支援・要介護認定者は、「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が42.7%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が37.4%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が27.6%となっています。



- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「一般高齢者」(n=1,760)
- ※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査「要支援認定者」(n=609)
- 在宅介護実態調査「要支援・要介護認定者」(n=1,281)

II 3 各調査における共通設問〔概要〕

高齢社会への対応として市が力を入れるべきこととして、「高齢者の働く場の確保」と回答した人を一般高齢者調査について年齢別にみると、65～69歳の割合が高く、労働意欲が高いことが伺われます。地域別にみると、潮見が最も多くなっています。

■年齢別，地域別（一般高齢者）

